

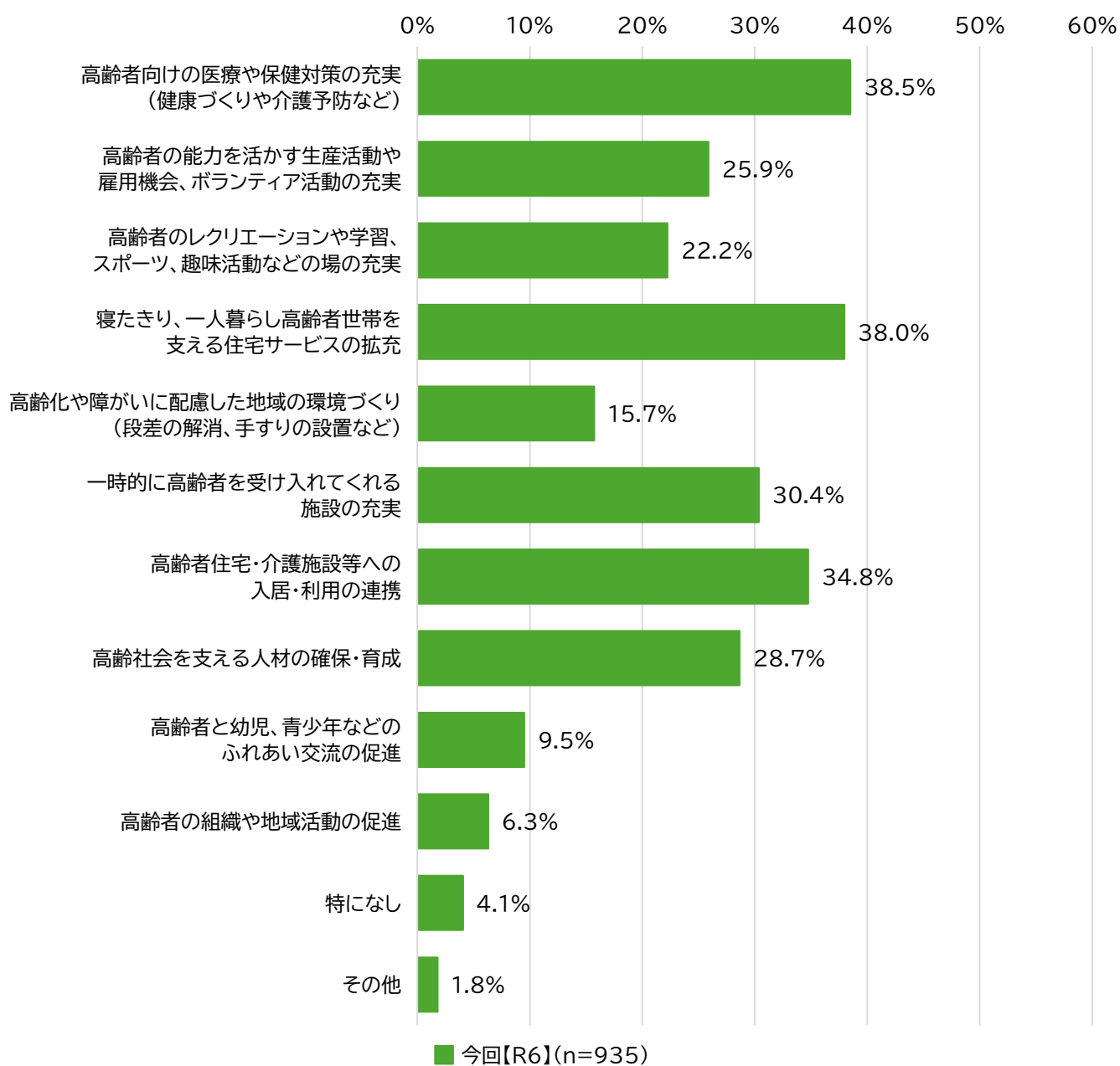
(2) 高齢福祉対策（①19 歳以上、②転入者、③高校生世代）

問 村が力を入れるべき高齢者福祉対策の取組みとして、何が重要だと思いますか。（3つまで○印）

「高齢者向けの医療や保健対策の充実（健康づくりや介護予防など）」が第1位。

次いで「寝たきり、一人暮らし高齢者世帯を支える住宅サービスの拡充」、「高齢者住宅・介護施設等への入居・利用の連携」の順。

南箕輪村が力を入れるべき高齢福祉対策の取組みとして、第1位が「高齢者向けの医療や保健対策の充実（健康づくりや介護予防など）」（38.5%）、第2位が「寝たきり、一人暮らし高齢者世帯を支える住宅サービスの拡充」（38.0%）、第3位が「高齢者住宅・介護施設等への入居・利用の連携」（34.8%）などの順となっています。

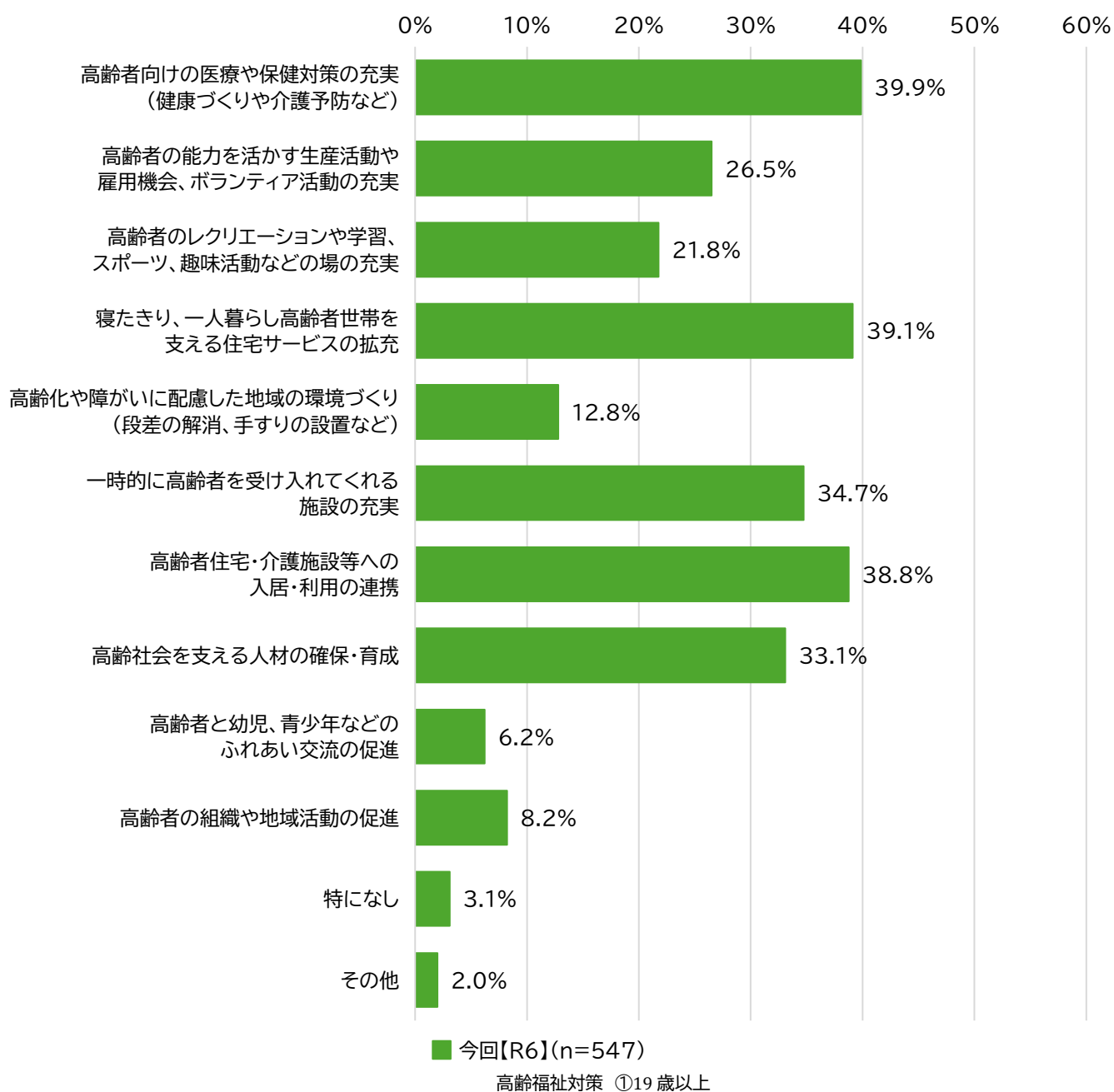


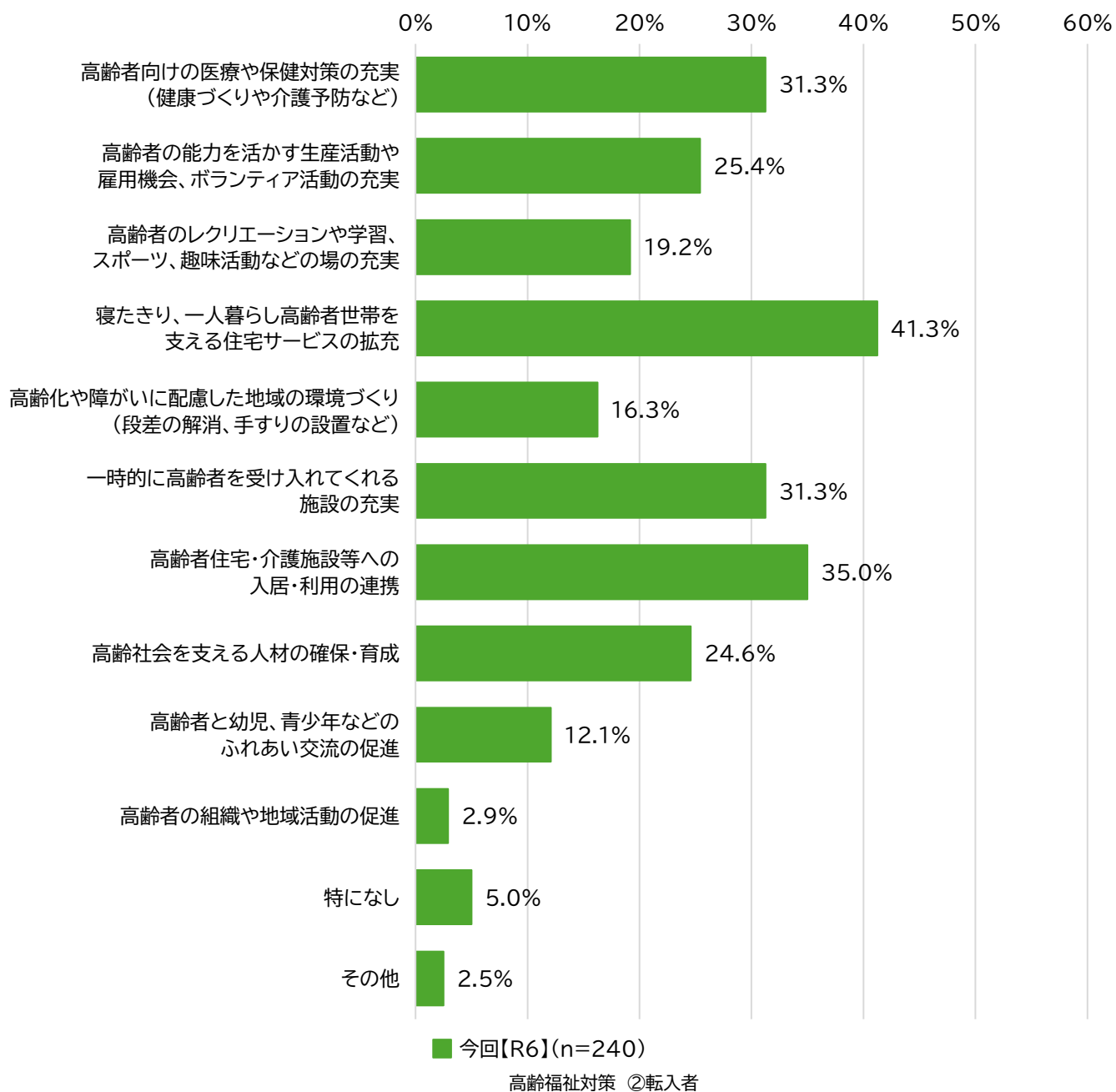
高齢福祉対策 全体

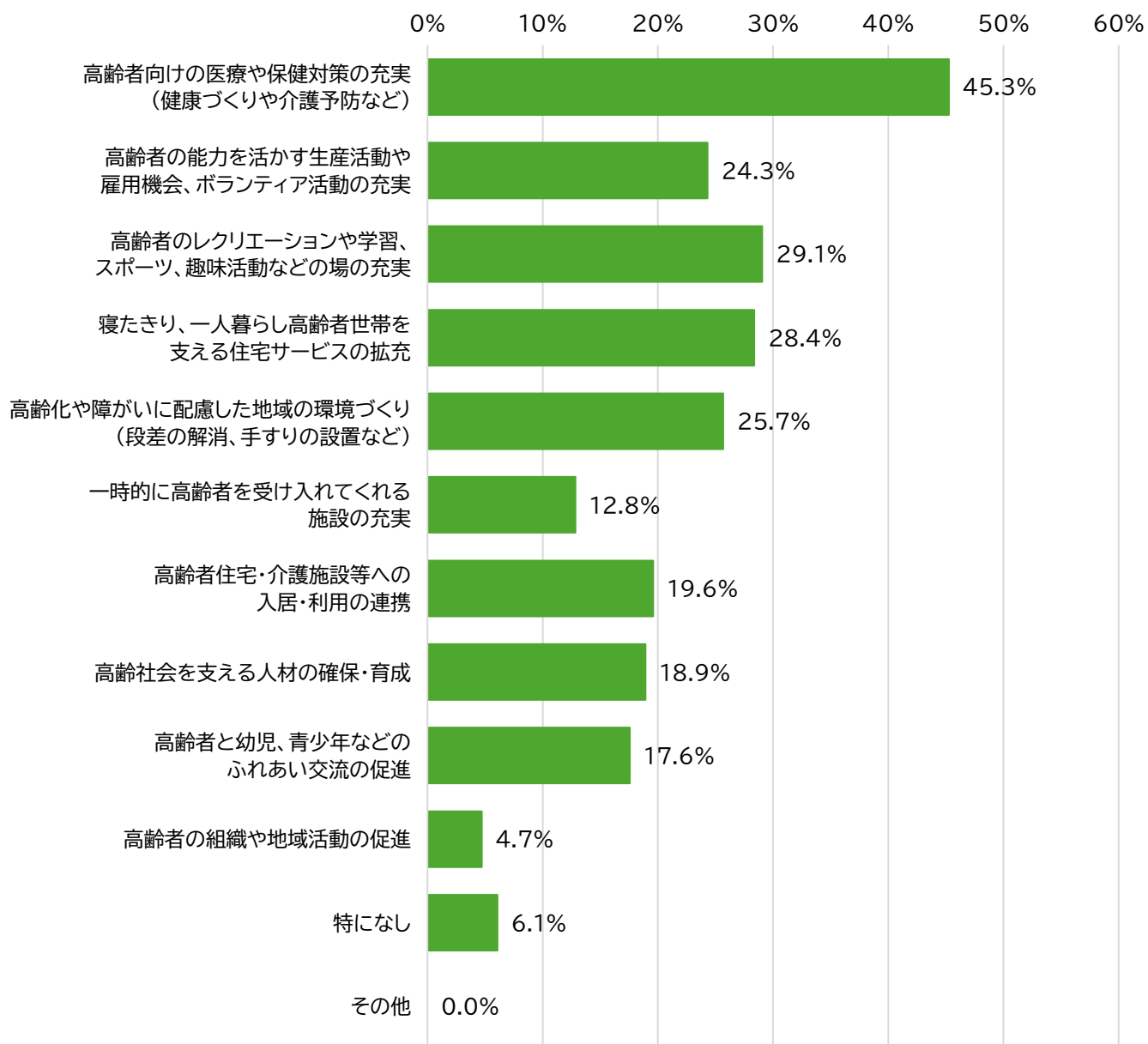
【調査区分別結果】

区分別でも上位 3 位までは比較的同じ結果となりますが、唯一「③高校生世代」では「高齢者のレクリエーションや学習、スポーツ、趣味活動などの場の充実」が第 2 位(29.1%)となっています。

「①19 歳以上」の順位は全体と同じですが、「②転入者」では、第 1 位が「寝たきり、一人暮らし高齢者世帯を支える住宅サービスの拡充」(41.3%)、次いで「高齢者住宅・介護施設等への入居・利用の連携」(35.0%)、「高齢者向けの医療や保健対策の充実(健康づくりや介護予防など)」(31.3%)などの順位となっています。また、「③高校生世代」では、第 1 位が「高齢者向けの医療や保健対策の充実(健康づくりや介護予防など)」(45.3%)、第 3 位が「寝たきり、一人暮らし高齢者世帯を支える住宅サービスの拡充」(28.4%)となっています。







■ 今回【R6】(n=148)

高齢福祉対策 ③高校生世代

【回答者の属性別結果】

性別でみると、男性の第1位は「高齢者向けの医療や保健対策の充実(健康づくりや介護予防など)」(42.0%)ですが、女性は「寝たきり、一人暮らし高齢者世帯を支える住宅サービスの拡充」(40.4%)となり、寝たきり・一人暮らし高齢者世帯や高齢者住宅・介護施設への入居・利用連携といった具体的なサービスを望んでいると思われます。また、「③高校生世代」はレクリエーションの場やボランティア活動の場といった、元気で活動的な高齢者世代のイメージが強いことが推測されます。

年齢でみると、働き盛り世代(30代～50代)が「寝たきり、一人暮らし高齢者世帯を支える住宅サービスの拡充」が第1位、「高齢者住宅・介護施設等への入居・利用の連携」が第2位であり、全体の女性と同様に、具体的なサービスを望む傾向が高いと思われます。

		第1位	第2位	第3位
全体(n=935)		高齢者向けの医療や保健対策の充実(健康づくりや介護予防など) 38.5%	寝たきり、一人暮らし高齢者世帯を支える住宅サービスの拡充 38.0%	高齢者住宅・介護施設等への入居・利用の連携 34.8%
性別	男性(n=426)	高齢者向けの医療や保健対策の充実(健康づくりや介護予防など) 42.0%	寝たきり、一人暮らし高齢者世帯を支える住宅サービスの拡充 35.2%	高齢者住宅・介護施設等への入居・利用の連携 32.2%
	女性(n=497)	寝たきり、一人暮らし高齢者世帯を支える住宅サービスの拡充 40.4%	高齢者住宅・介護施設等への入居・利用の連携 37.4%	高齢者向けの医療や保健対策の充実(健康づくりや介護予防など) 35.4%
①19歳以上 全体(n=547)		高齢者向けの医療や保健対策の充実(健康づくりや介護予防など) 39.9%	寝たきり、一人暮らし高齢者世帯を支える住宅サービスの拡充 39.1%	高齢者住宅・介護施設等への入居・利用の連携 38.8%
①19歳以上性別	男性(n=263)	高齢者向けの医療や保健対策の充実(健康づくりや介護予防など) 44.9%	寝たきり、一人暮らし高齢者世帯を支える住宅サービスの拡充 36.9%	高齢者住宅・介護施設等への入居・利用の連携 34.2%
	女性(n=277)	高齢者住宅・介護施設等への入居・利用の連携 43.3%	寝たきり、一人暮らし高齢者世帯を支える住宅サービスの拡充 41.2%	一時的に高齢者を受け入れてくれる施設の充実 38.3%
②転入者 全体(n=240)		寝たきり、一人暮らし高齢者世帯を支える住宅サービスの拡充 41.3%	高齢者住宅・介護施設等への入居・利用の連携 35.0%	高齢者向けの医療や保健対策の充実(健康づくりや介護予防など) 31.3%
②転入者性別	男性(n=103)	高齢者住宅・介護施設等への入居・利用の連携 37.9%	寝たきり、一人暮らし高齢者世帯を支える住宅サービスの拡充 35.9%	高齢者向けの医療や保健対策の充実(健康づくりや介護予防など) 32.0%
	女性(n=137)	寝たきり、一人暮らし高齢者世帯を支える住宅サービスの拡充 45.3%	一時的に高齢者を受け入れてくれる施設の充実 33.6%	高齢者住宅・介護施設等への入居・利用の連携 32.8%
③高校生世代 全体(n=148)		高齢者向けの医療や保健対策の充実(健康づくりや介護予防など) 45.3%	高齢者のレクリエーションや学習、スポーツ、趣味活動などの場の充実 29.1%	寝たきり、一人暮らし高齢者世帯を支える住宅サービスの拡充 28.4%

③ 高 校 生 世 代 性 別	男性 (n=60)	高齢者向けの医療や保健対策の充実(健康づくりや介護予防など) 46.7%	高齢者のレクリエーションや学習、スポーツ、趣味活動などの場の充実 31.7%	高齢者の能力を活かす生産活動や雇用機会、ボランティア活動の充実 26.7%
	女性 (n=83)	高齢者向けの医療や保健対策の充実(健康づくりや介護予防など) 45.8%	寝たきり、一人暮らし高齢者世帯を支える住宅サービスの拡充 30.1%	高齢者のレクリエーションや学習、スポーツ、趣味活動などの場の充実 26.5%
年 代 別	19～29 歳 (n=57)	寝たきり、一人暮らし高齢者世帯を支える住宅サービスの拡充 40.4%	高齢者向けの医療や保健対策の充実(健康づくりや介護予防など) 38.6%	高齢社会を支える人材の確保・育成 38.6%
	30～39 歳 (n=103)	寝たきり、一人暮らし高齢者世帯を支える住宅サービスの拡充 40.8%	高齢者住宅・介護施設等への入居・利用の連携 36.9%	一時的に高齢者を受け入れてくれる施設の充実 34.0%
	40～49 歳 (n=137)	寝たきり、一人暮らし高齢者世帯を支える住宅サービスの拡充 40.9%	高齢者住宅・介護施設等への入居・利用の連携 35.0%	高齢者向けの医療や保健対策の充実(健康づくりや介護予防など) 34.3%
	50～59 歳 (n=121)	寝たきり、一人暮らし高齢者世帯を支える住宅サービスの拡充 44.6%	高齢者住宅・介護施設等への入居・利用の連携 43.0%	一時的に高齢者を受け入れてくれる施設の充実 35.5%
	60～69 歳 (n=130)	高齢者住宅・介護施設等への入居・利用の連携 45.4%	高齢者向けの医療や保健対策の充実(健康づくりや介護予防など) 39.2%	寝たきり、一人暮らし高齢者世帯を支える住宅サービスの拡充 38.5%
	70 歳以上 (n=233)	高齢者向けの医療や保健対策の充実(健康づくりや介護予防など) 43.8%	一時的に高齢者を受け入れてくれる施設の充実 38.2%	寝たきり、一人暮らし高齢者世帯を支える住宅サービスの拡充 36.9%

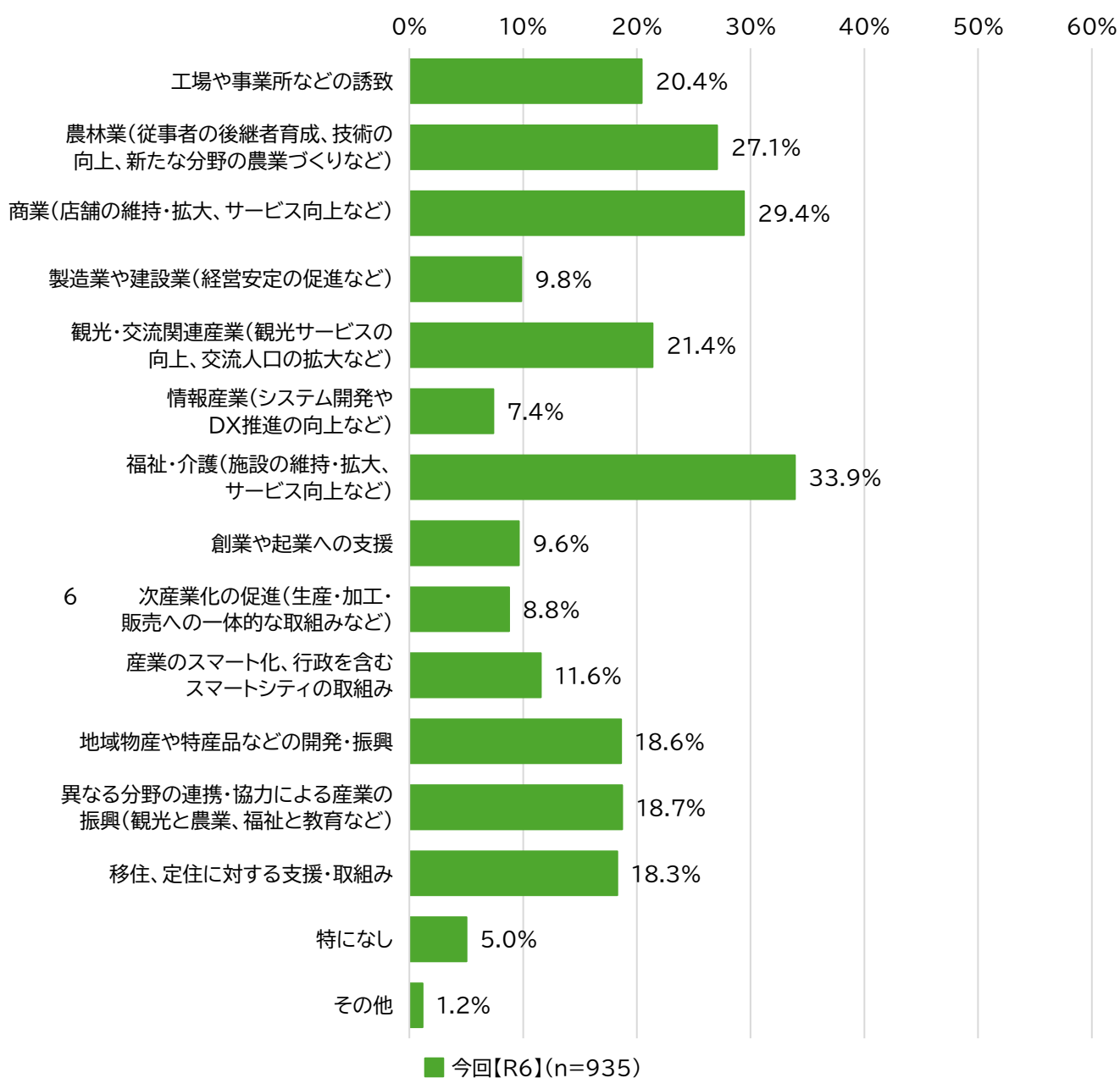
(3) 産業振興（①19 歳以上、②転入者、③高校生世代）

問 村が力を入れるべき産業振興の取組みとして、何が重要だと思いますか。（3つまで○印）

「福祉・介護（施設の維持・拡大、サービス向上など）」が第 1 位。

次いで「商業（店舗の維持・拡大、サービス向上など）」、「農林業（従事者の後継者育成、技術の向上、新たな分野の農業づくりなど）」の順。

南箕輪村が力を入れるべき産業振興の取組みとして、第 1 位が「福祉・介護（施設の維持・拡大、サービス向上など）」（33.9%）、第 2 位が「商業（店舗の維持・拡大、サービス向上など）」（29.4%）、第 3 位が「農林業（従事者の後継者育成、技術の向上、新たな分野の農業づくりなど）」（27.1%）などの順となっています。



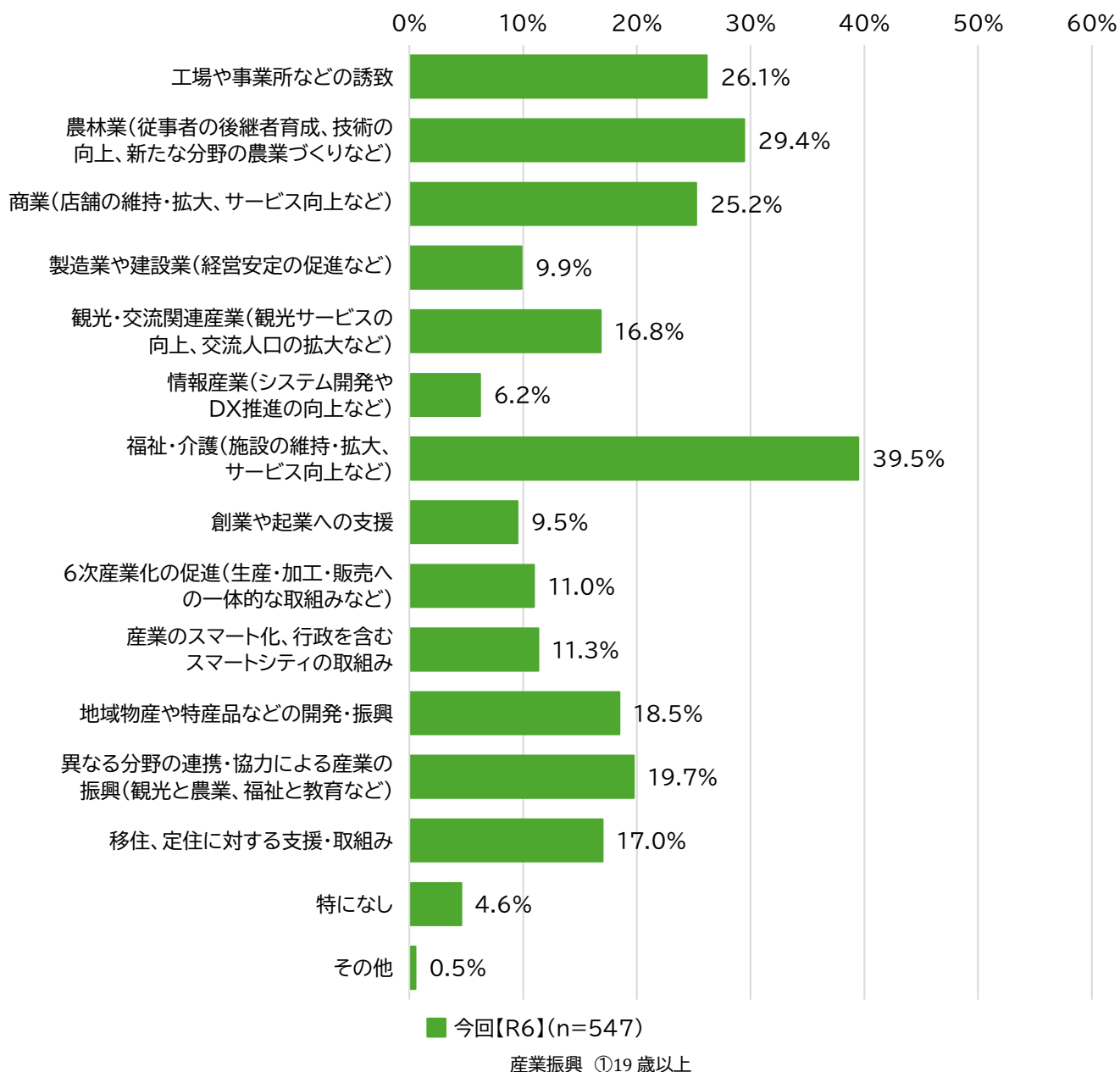
産業振興 全体

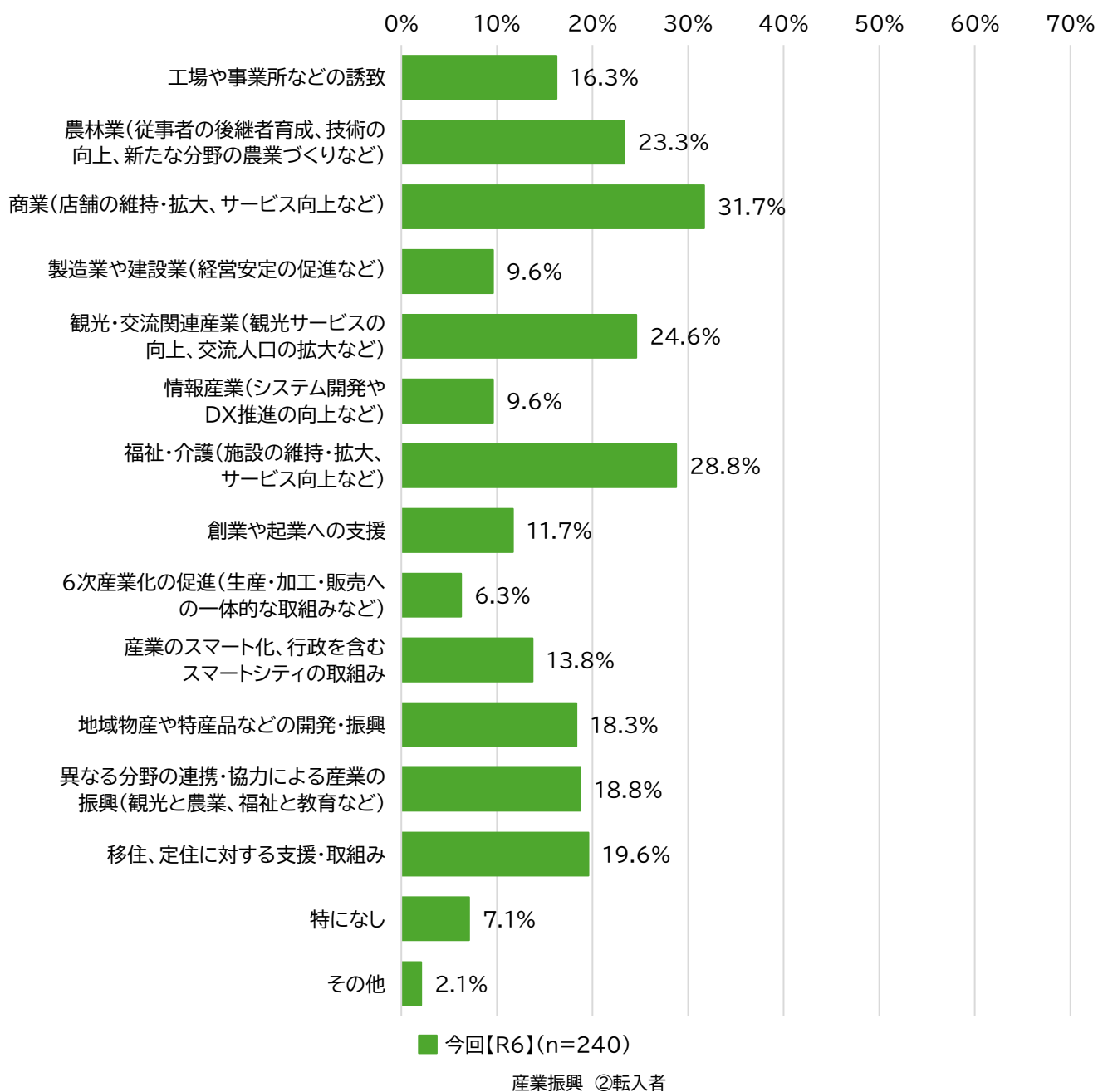
【調査区分別結果】

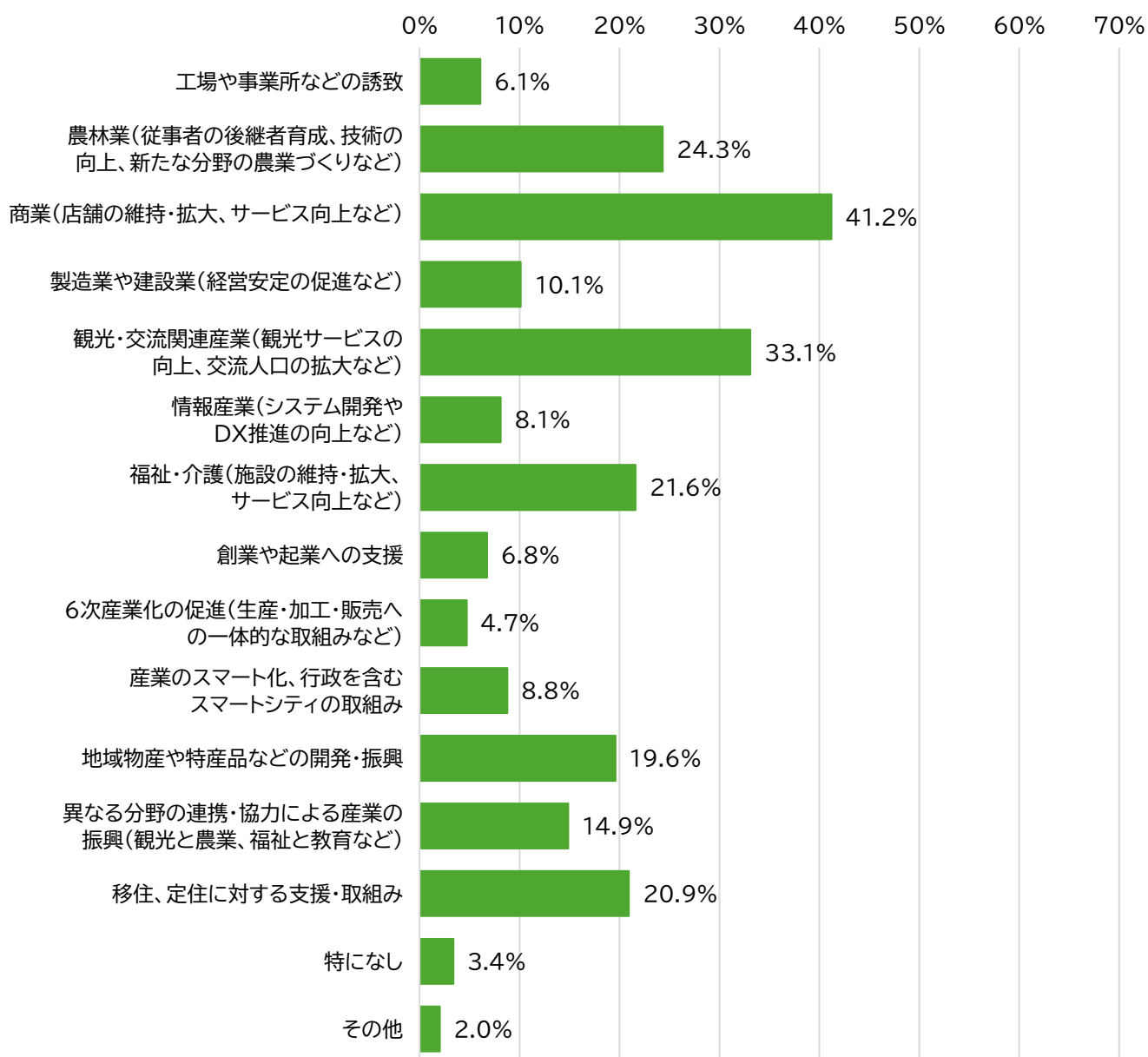
区分別でみると、「①19 歳以上」の第 1 位は「福祉・介護(施設の維持・拡大、サービス向上など)」(39.5%)で、次いで「農林業(従事者の後継者育成、技術の向上、新たな分野の農業づくりなど)」(29.4%)、「工場や事業所などの誘致」(26.1%)などの順位となっています。

「②転入者」では、第 1 位が「商業(店舗の維持・拡大、サービス向上など)」(31.7%)、次いで「福祉・介護(施設の維持・拡大、サービス向上など)」(28.8%)、「観光・交流関連産業(観光サービスの向上、交流人口の拡大など)」(24.6%)などの順位となっています。

「③高校生世代」では、第 1 位が「商業(店舗の維持・拡大、サービス向上など)」(41.2%)、次いで「観光・交流関連産業(観光サービスの向上、交流人口の拡大など)」(33.1%)、「農林業(従事者の後継者育成、技術の向上、新たな分野の農業づくりなど)」(24.3%)などの順位となっています。







■ 今回【R6】(n=148)

産業振興 ③高校生世代

【回答者の属性別結果】

性別でみると、男性の第1位は同率で「農林業(従事者の後継者育成、技術の向上、新たな分野の農業づくりなど)」「福祉・介護(施設の維持・拡大、サービス向上など)」(共に27.9%)となり、女性の第1位は「福祉・介護(施設の維持・拡大、サービス向上など)」(39.0%)となっています。

年齢別でみると、10代～30代といった若い世代が「商業(店舗の維持・拡大、サービス向上など)」が第1位、50代～70歳以上が「福祉・介護(施設の維持・拡大、サービス向上など)」が第1位となります。また、「②転入者」や「③高校生世代」では、「観光・交流関連産業(観光サービスの向上、交流人口の拡大など)」を求める声も見受けられます。

		第1位	第2位	第3位
全体(n=935)		福祉・介護(施設の維持・拡大、サービス向上など) 33.9%	商業(店舗の維持・拡大、サービス向上など) 29.4%	農林業(従事者の後継者育成、技術の向上、新たな分野の農業づくりなど) 27.1%
性別	男性 (n=426)	農林業(従事者の後継者育成、技術の向上、新たな分野の農業づくりなど) 27.9%	福祉・介護(施設の維持・拡大、サービス向上など) 27.9%	商業(店舗の維持・拡大、サービス向上など) 26.3%
	女性 (n=497)	福祉・介護(施設の維持・拡大、サービス向上など) 39.0%	商業(店舗の維持・拡大、サービス向上など) 32.0%	農林業(従事者の後継者育成、技術の向上、新たな分野の農業づくりなど) 27.0%
①19歳以上 全体 (n=547)		福祉・介護(施設の維持・拡大、サービス向上など) 39.5%	農林業(従事者の後継者育成、技術の向上、新たな分野の農業づくりなど) 29.4%	工場や事業所などの誘致 26.1%
①19歳以上性別	男性 (n=263)	福祉・介護(施設の維持・拡大、サービス向上など) 33.8%	農林業(従事者の後継者育成、技術の向上、新たな分野の農業づくりなど) 31.2%	工場や事業所などの誘致 30.4%
	女性 (n=277)	福祉・介護(施設の維持・拡大、サービス向上など) 44.8%	農林業(従事者の後継者育成、技術の向上、新たな分野の農業づくりなど) 28.5%	商業(店舗の維持・拡大、サービス向上など) 27.1%
②転入者 全体 (n=240)		商業(店舗の維持・拡大、サービス向上など) 31.7%	福祉・介護(施設の維持・拡大、サービス向上など) 28.8%	観光・交流関連産業(観光サービスの向上、交流人口の拡大など) 24.6%
②転入者性別	男性 (n=103)	商業(店舗の維持・拡大、サービス向上など) 27.2%	観光・交流関連産業(観光サービスの向上、交流人口の拡大など) 25.2%	移住、定住に対する支援・取組み 22.3%
	女性 (n=137)	福祉・介護(施設の維持・拡大、サービス向上など) 37.2%	商業(店舗の維持・拡大、サービス向上など) 35.0%	農林業(従事者の後継者育成、技術の向上、新たな分野の農業づくりなど) 24.8%
③高校生世代 全体 (n=148)		商業(店舗の維持・拡大、サービス向上など) 41.2%	観光・交流関連産業(観光サービスの向上、交流人口の拡大など) 33.1%	農林業(従事者の後継者育成、技術の向上、新たな分野の農業づくりなど) 24.3%

③ 高 校 生 世 代 性 別	男性 (n=60)	商業(店舗の維持・拡大、サービス向上など) 40.0%	観光・交流関連産業(観光サービスの向上、交流人口の拡大など) 36.7%	農林業(従事者の後継者育成、技術の向上、新たな分野の農業づくりなど) 25.0%
	女性 (n=83)	商業(店舗の維持・拡大、サービス向上など) 43.4%	観光・交流関連産業(観光サービスの向上、交流人口の拡大など) 31.3%	農林業(従事者の後継者育成、技術の向上、新たな分野の農業づくりなど) 25.3%
年 代 別	19～29 歳 (n=57)	商業(店舗の維持・拡大、サービス向上など) 33.3%	観光・交流関連産業(観光サービスの向上、交流人口の拡大など) 31.6%	移住、定住に対する支援・取り組み 29.8%
	30～39 歳 (n=103)	商業(店舗の維持・拡大、サービス向上など) 34.0%	農林業(従事者の後継者育成、技術の向上、新たな分野の農業づくりなど) 26.2%	観光・交流関連産業(観光サービスの向上、交流人口の拡大など) 25.2%
	40～49 歳 (n=137)	農林業(従事者の後継者育成、技術の向上、新たな分野の農業づくりなど) 33.6%	商業(店舗の維持・拡大、サービス向上など) 33.6%	福祉・介護(施設の維持・拡大、サービス向上など) 27.0%
	50～59 歳 (n=121)	福祉・介護(施設の維持・拡大、サービス向上など) 35.5%	商業(店舗の維持・拡大、サービス向上など) 30.6%	工場や事業所などの誘致 28.1%
	60～69 歳 (n=130)	福祉・介護(施設の維持・拡大、サービス向上など) 42.3%	商業(店舗の維持・拡大、サービス向上など) 28.5%	農林業(従事者の後継者育成、技術の向上、新たな分野の農業づくりなど) 25.4%
	70 歳以上 (n=233)	福祉・介護(施設の維持・拡大、サービス向上など) 47.2%	農林業(従事者の後継者育成、技術の向上、新たな分野の農業づくりなど) 30.9%	工場や事業所などの誘致 29.6%

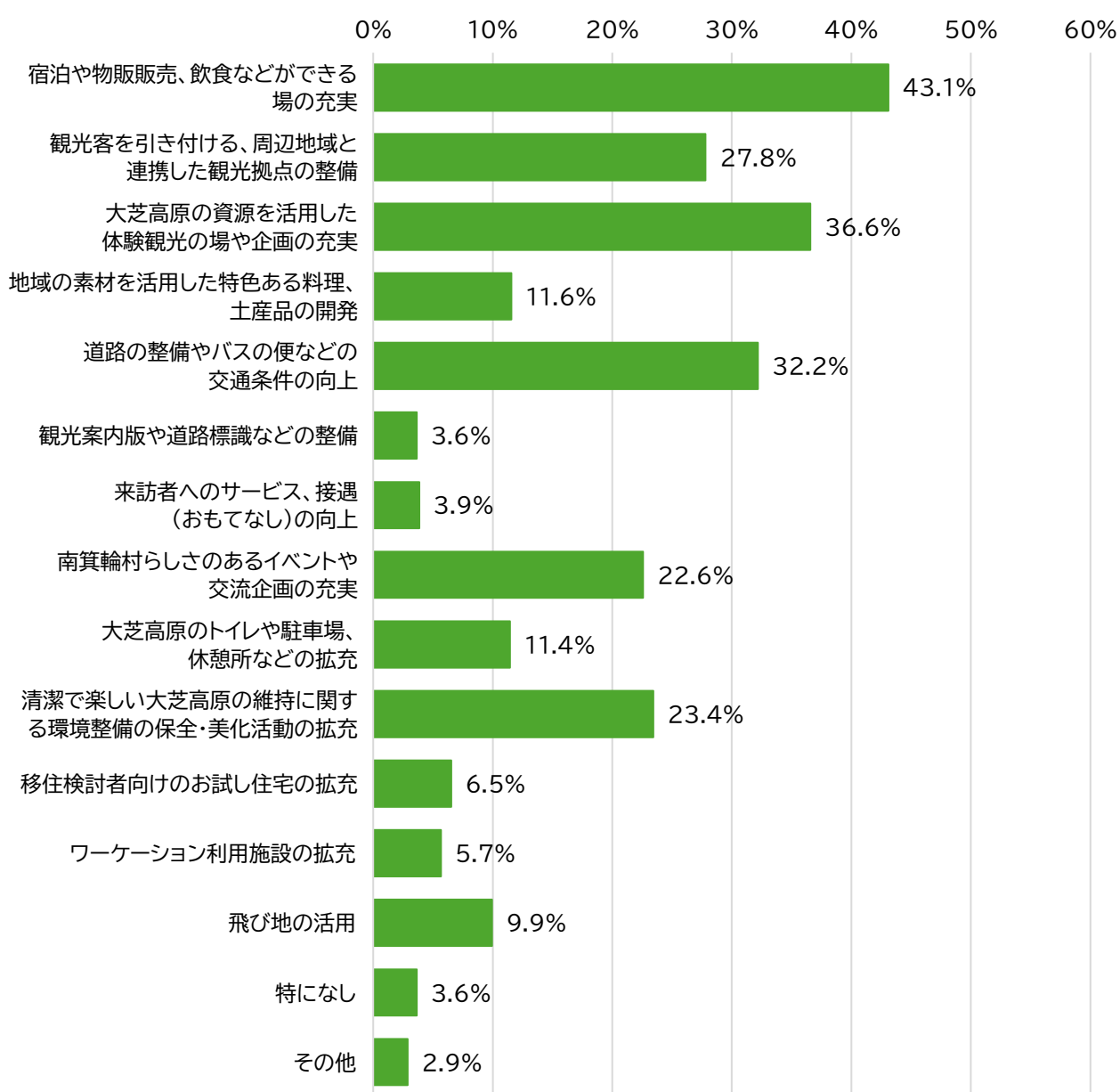
(4) 観光・交流振興（①19 歳以上、②転入者、③高校生世代）

問 村が力を入れるべき観光・交流振興の取組みとして、何が重要だと思いますか。（3つまで○印）

「宿泊や物販販売、飲食などができる場の充実」が第1位。

次いで「大芝高原の資源を活用した体験観光の場や企画の充実」、「道路の整備やバスの便などの交通条件の向上」の順。

南箕輪村が力を入れるべき観光・交流振興の取組みとして、第1位が「宿泊や物販販売、飲食などができる場の充実」（43.1%）、第2位が「大芝高原の資源を活用した体験観光の場や企画の充実」（36.6%）、第3位が「道路の整備やバスの便などの交通条件の向上」（32.2%）などの順となっています。

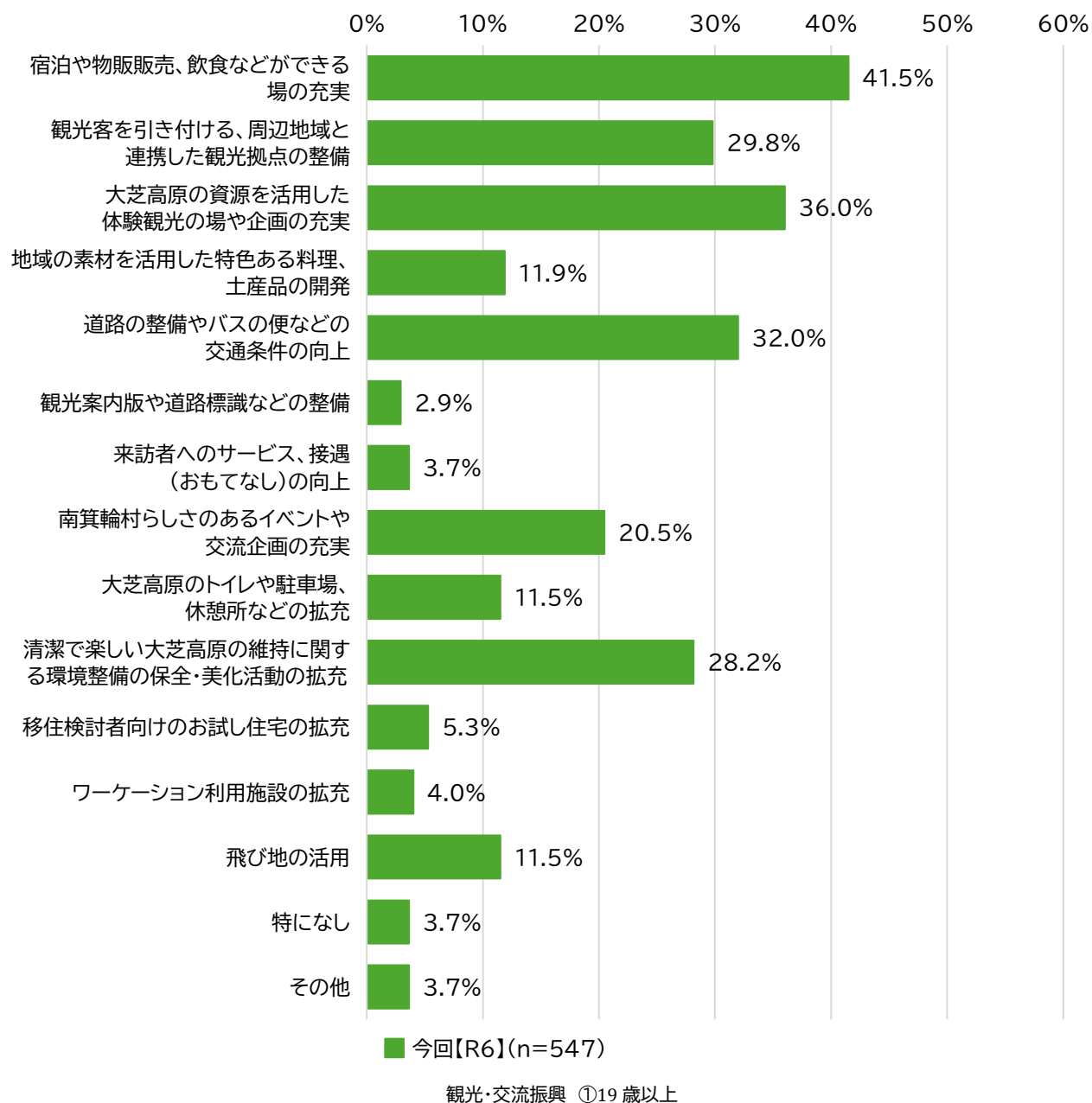


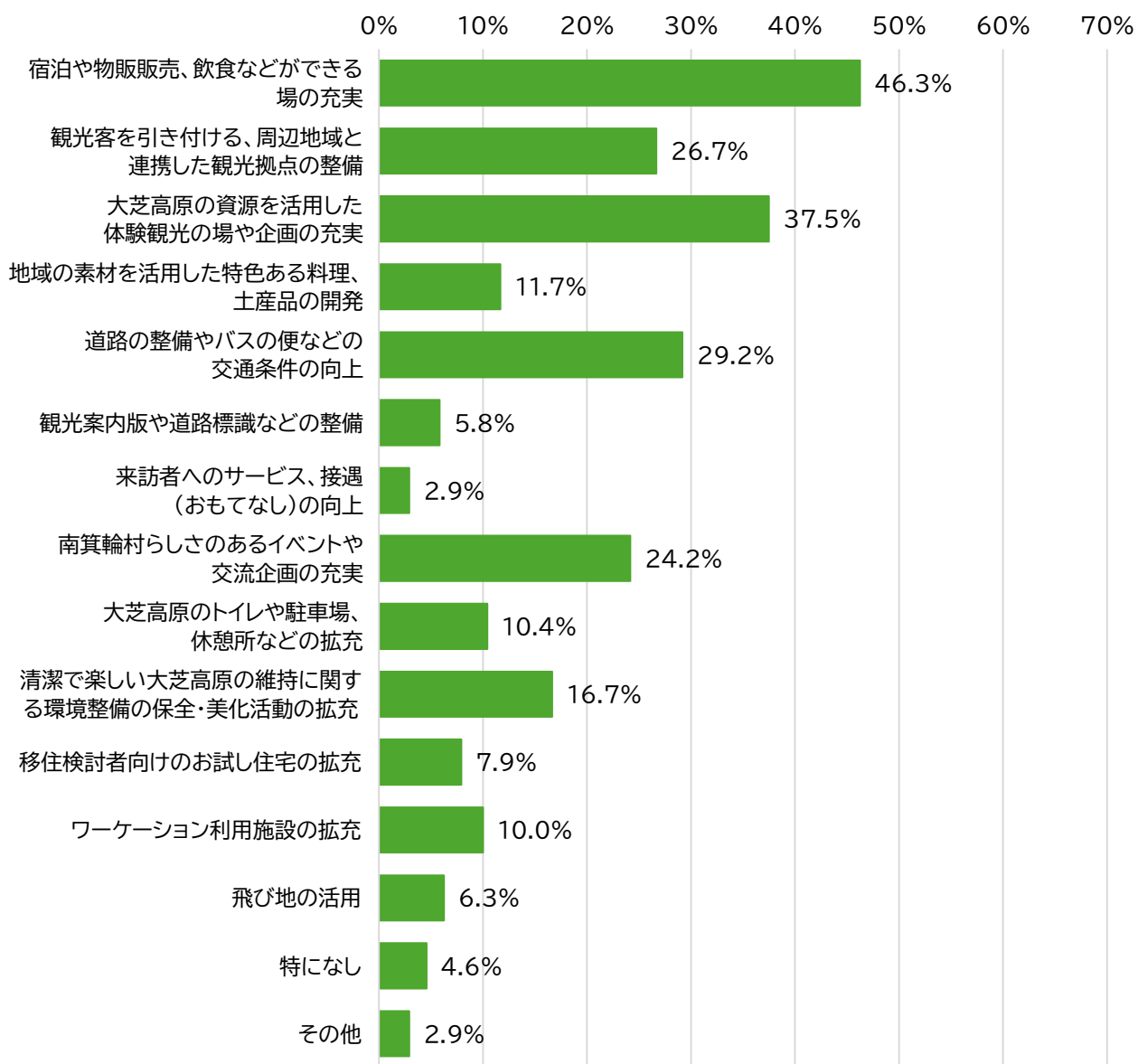
■ 今回【R6】(n=935)

観光・交流振興 全体

【調査区分別結果】

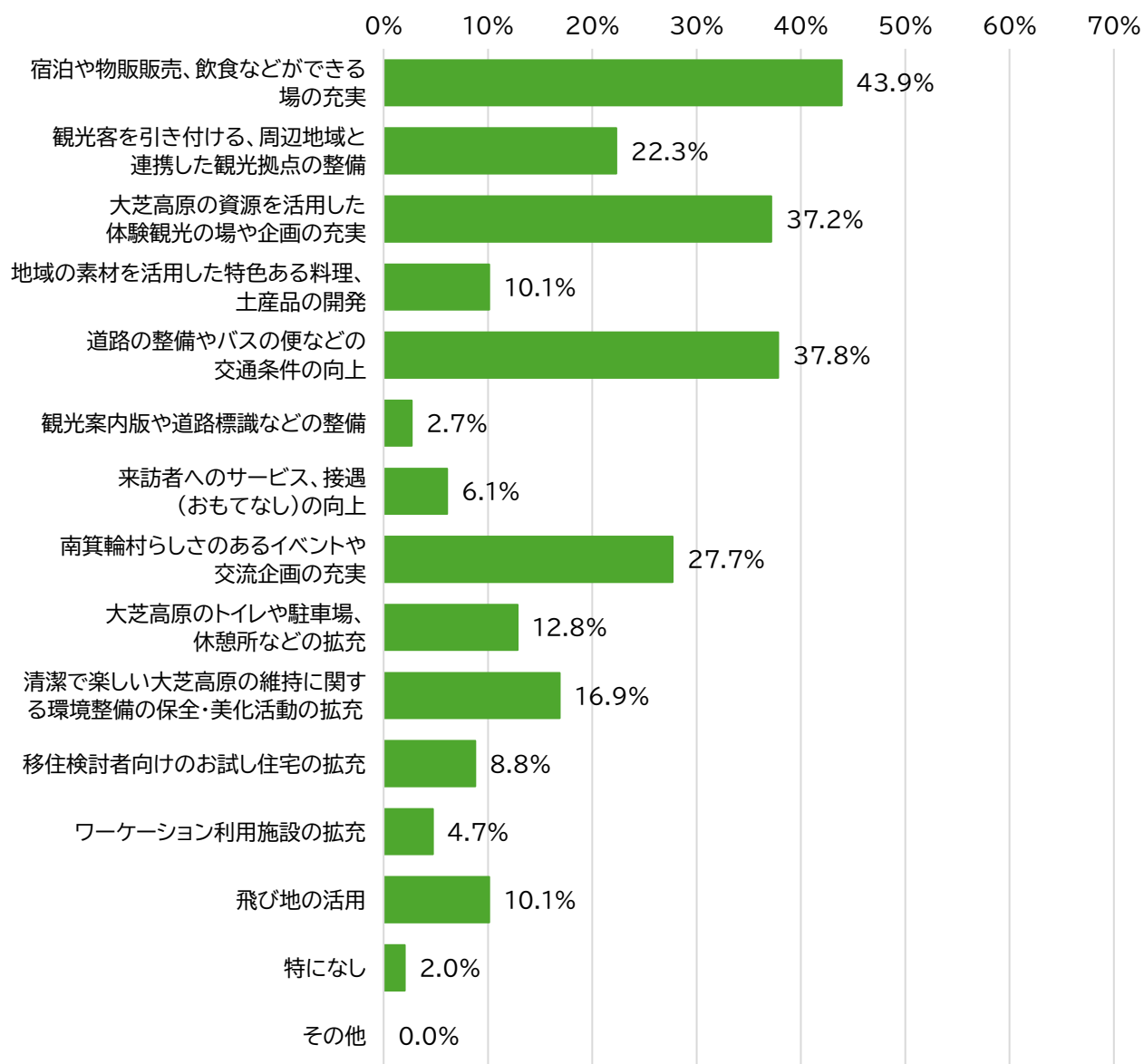
区分別でも、一部順位の変動はあるものの上位3位は「宿泊や物販販売、飲食などができる場の充実」、「大芝高原の資源を活用した体験観光の場や企画の充実」、「道路の整備やバスの便などの交通条件の向上」と、同じ項目が並んでいます。中でも「宿泊や物販販売、飲食などができる場の充実」は全区分で第1位であり、割合も4割を超えていることから、村民の多くが観光・交流振興で特に力を入れるべきと考えているといえます。





■ 今回【R6】(n=240)

観光・交流振興 ②転入者



■ 今回【R6】(n=148)

観光・交流振興 ③高校生世代

【回答者の属性別結果】

属性別でみると、ほとんどの属性で「宿泊や物販販売、飲食などができる場の充実」が第1位となっており、年代別にみると「19～29歳」(56.1%)、「30～39歳」(48.5%)、「40～49歳」(44.5%)、区分別にみると「②転入者:女性」(47.4%)、「③高校生世代:男性」(46.7%)、「②転入者:男性」(44.7%)と、比較的若い世代が観光・交流振興に力を入れるべきと考えているといえます。

		第1位	第2位	第3位
全体(n=935)		宿泊や物販販売、飲食などができる場の充実 43.1%	大芝高原の資源を活用した体験観光の場や企画の充実 36.6%	道路の整備やバスの便などの交通条件の向上 32.2%
性別	男性(n=426)	宿泊や物販販売、飲食などができる場の充実 41.5%	大芝高原の資源を活用した体験観光の場や企画の充実 38.0%	観光客を引き付ける、周辺地域と連携した観光拠点の整備 30.0%
	女性(n=497)	宿泊や物販販売、飲食などができる場の充実 44.5%	大芝高原の資源を活用した体験観光の場や企画の充実 36.0%	道路の整備やバスの便などの交通条件の向上 35.0%
①19歳以上 全体(n=547)		宿泊や物販販売、飲食などができる場の充実 41.5%	大芝高原の資源を活用した体験観光の場や企画の充実 36.0%	道路の整備やバスの便などの交通条件の向上 32.0%
①19歳以上性別	男性(n=263)	大芝高原の資源を活用した体験観光の場や企画の充実 40.7%	宿泊や物販販売、飲食などができる場の充実 39.2%	観光客を引き付ける、周辺地域と連携した観光拠点の整備 29.7%
	女性(n=277)	宿泊や物販販売、飲食などができる場の充実 43.7%	道路の整備やバスの便などの交通条件の向上 34.3%	大芝高原の資源を活用した体験観光の場や企画の充実 32.5%
②転入者 全体(n=240)		宿泊や物販販売、飲食などができる場の充実 46.3%	大芝高原の資源を活用した体験観光の場や企画の充実 37.5%	道路の整備やバスの便などの交通条件の向上 29.2%
②転入者性別	男性(n=103)	宿泊や物販販売、飲食などができる場の充実 44.7%	観光客を引き付ける、周辺地域と連携した観光拠点の整備 31.1%	大芝高原の資源を活用した体験観光の場や企画の充実 31.1%
	女性(n=137)	宿泊や物販販売、飲食などができる場の充実 47.4%	大芝高原の資源を活用した体験観光の場や企画の充実 42.3%	道路の整備やバスの便などの交通条件の向上 32.8%
③高校生世代 全体(n=148)		宿泊や物販販売、飲食などができる場の充実 43.9%	道路の整備やバスの便などの交通条件の向上 37.8%	大芝高原の資源を活用した体験観光の場や企画の充実 37.2%
③高校生世代性別	男性(n=60)	宿泊や物販販売、飲食などができる場の充実 46.7%	大芝高原の資源を活用した体験観光の場や企画の充実 38.3%	道路の整備やバスの便などの交通条件の向上 35.0%
	女性(n=83)	宿泊や物販販売、飲食などができる場の充実 42.2%	道路の整備やバスの便などの交通条件の向上 41.0%	大芝高原の資源を活用した体験観光の場や企画の充実 37.3%

年 代 別	19～29 歳 (n=57)	宿泊や物販販売、飲食などができ る場の充実 56.1%	観光客を引き付ける、周辺地域と 連携した観光拠点の整備 35.1%	道路の整備やバスの便などの交通 条件の向上 29.8%
	30～39 歳 (n=103)	宿泊や物販販売、飲食などができ る場の充実 48.5%	大芝高原の資源を活用した体験観 光の場や企画の充実 42.7%	南箕輪村らしさのあるイベントや交 流企画の充実 26.2%
	40～49 歳 (n=137)	宿泊や物販販売、飲食などができ る場の充実 44.5%	道路の整備やバスの便などの交通 条件の向上 38.0%	大芝高原の資源を活用した体験観 光の場や企画の充実 34.3%
	50～59 歳 (n=121)	宿泊や物販販売、飲食などができ る場の充実 38.0%	大芝高原の資源を活用した体験観 光の場や企画の充実 36.4%	道路の整備やバスの便などの交通 条件の向上 36.4%
	60～69 歳 (n=130)	観光客を引き付ける、周辺地域と 連携した観光拠点の整備 36.2%	大芝高原の資源を活用した体験観 光の場や企画の充実 36.2%	清潔で楽しい大芝高原の維持に関す る環境整備の保全・美化活動の拡充 34.6%
	70 歳以上 (n=233)	宿泊や物販販売、飲食などができ る場の充実 44.2%	大芝高原の資源を活用した体験観 光の場や企画の充実 37.3%	道路の整備やバスの便などの交通 条件の向上 32.2%

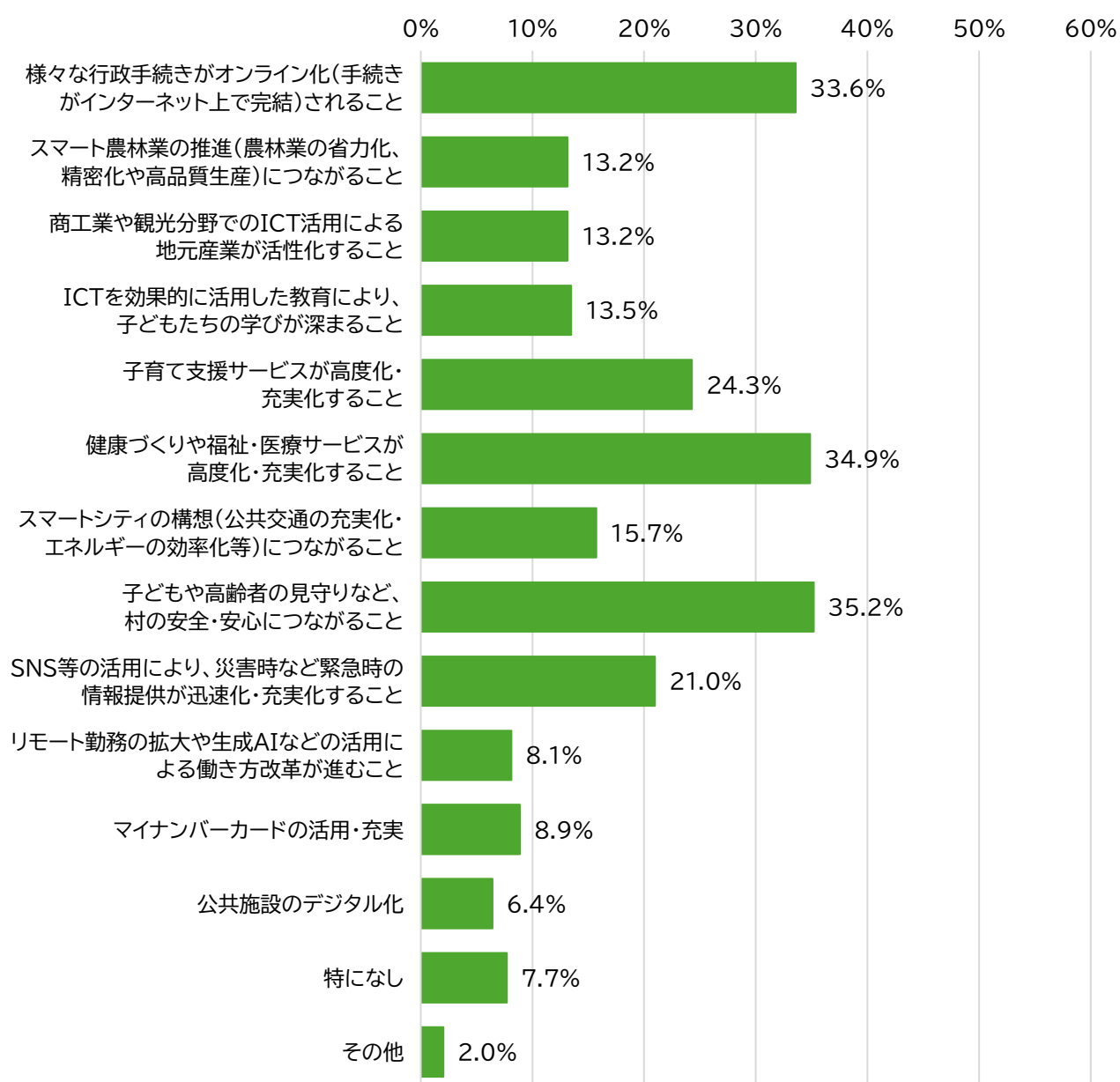
(5) 地域社会のデジタル化(①19 歳以上、②転入者、③高校生世代)

問 地域社会でデジタル化が進むなかで、あなたが期待することは何ですか。(3つまで○印)

「子どもや高齢者の見守りなど、村の安全・安心につながる事」が第1位。

次いで「健康づくりや福祉・医療サービスが高度化・充実化すること」、「様々な行政手続きがオンライン化(手続きがインターネット上で完結)されること」の順。

南箕輪村が力を入れるべき観光・交流振興の取組みとして、第1位が「子どもや高齢者の見守りなど、村の安全・安心につながる事」(35.2%)、第2位が「健康づくりや福祉・医療サービスが高度化・充実化すること」(34.9%)、第3位が「様々な行政手続きがオンライン化(手続きがインターネット上で完結)されること」(33.6%)などの順となっています。



■ 今回【R6】(n=935)

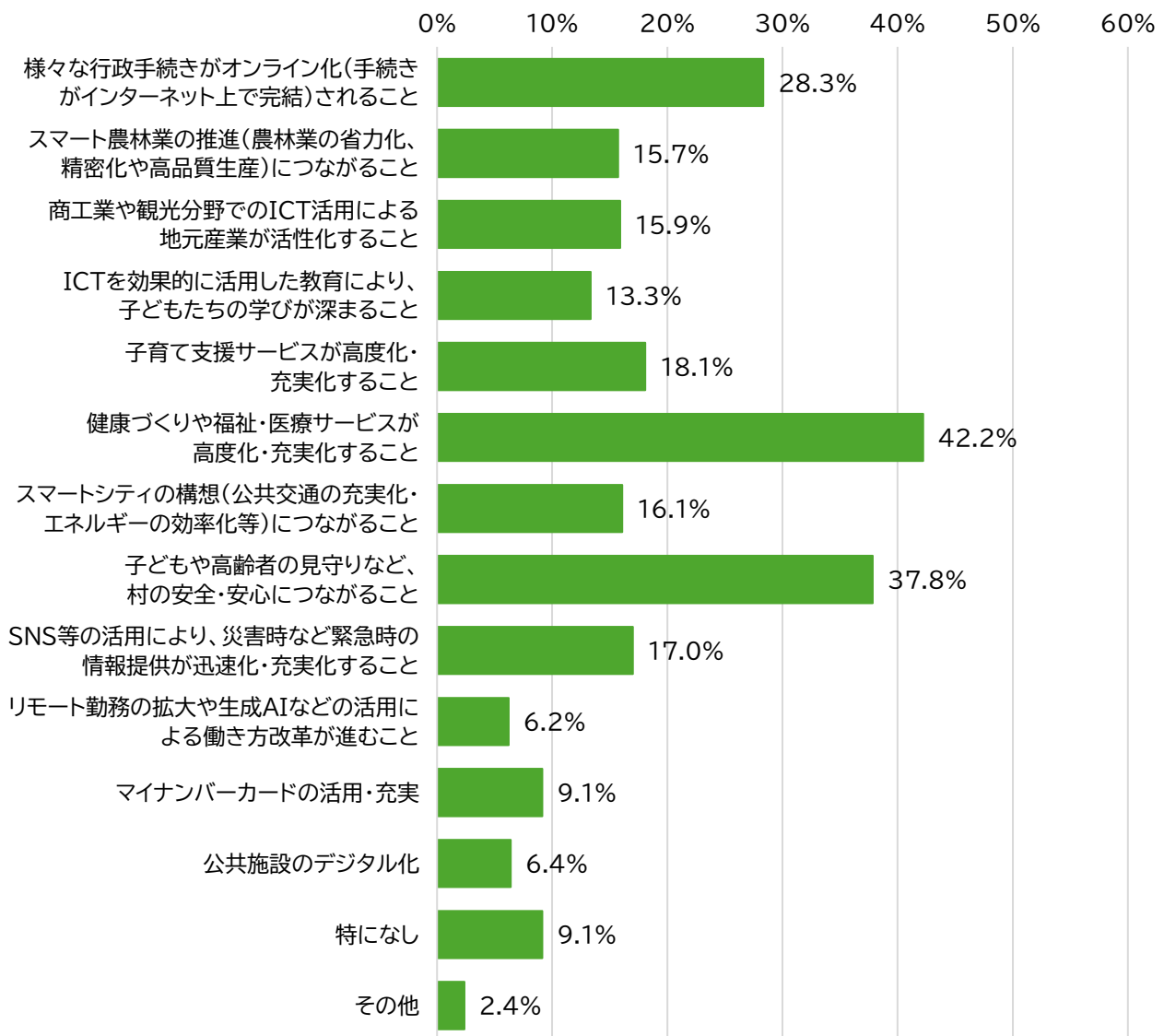
地域社会のデジタル化 全体

【調査区分別結果】

区分別でみると、「①19 歳以上」の第 1 位は「健康づくりや福祉・医療サービスが高度化・充実化すること」(42.2%)で、次いで「子どもや高齢者の見守りなど、村の安全・安心につながること」(37.8%)、「様々な行政手続きがオンライン化(手続きがインターネット上で完結)されること」(28.3%)などの順位となっています。

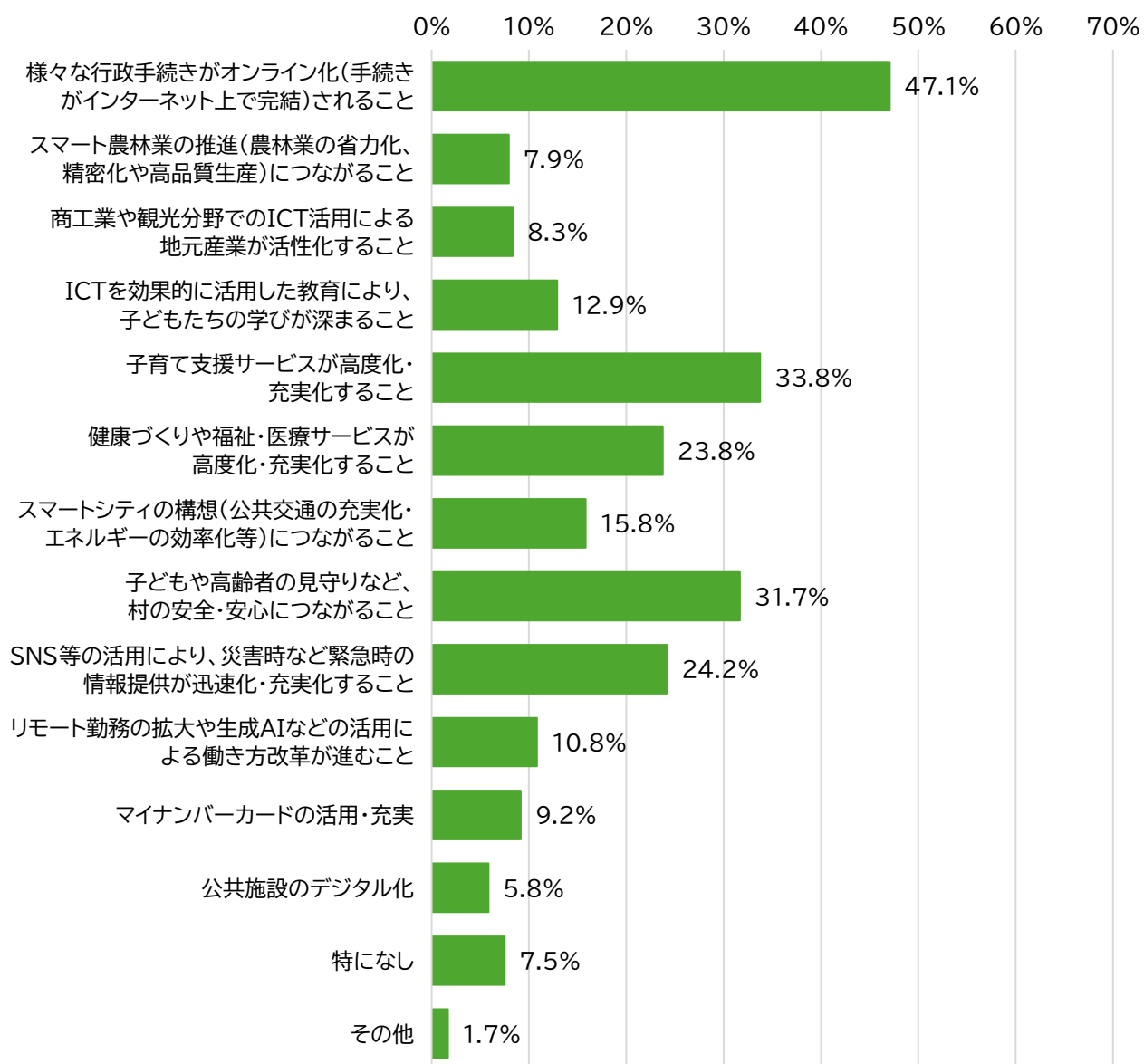
「②転入者」では、第 1 位が「様々な行政手続きがオンライン化(手続きがインターネット上で完結)されること」(47.1%)、次いで「子育て支援サービスが高度化・充実化すること」(33.8%)、「子どもや高齢者の見守りなど、村の安全・安心につながること」(31.7%)などの順位となっています。

「③高校生世代」では、第 1 位が僅差で「子育て支援サービスが高度化・充実化すること」(31.8%)、次いで「様々な行政手続きがオンライン化(手続きがインターネット上で完結)されること」、「子どもや高齢者の見守りなど、村の安全・安心につながること」(同率で 31.1%)などの順位となっています。



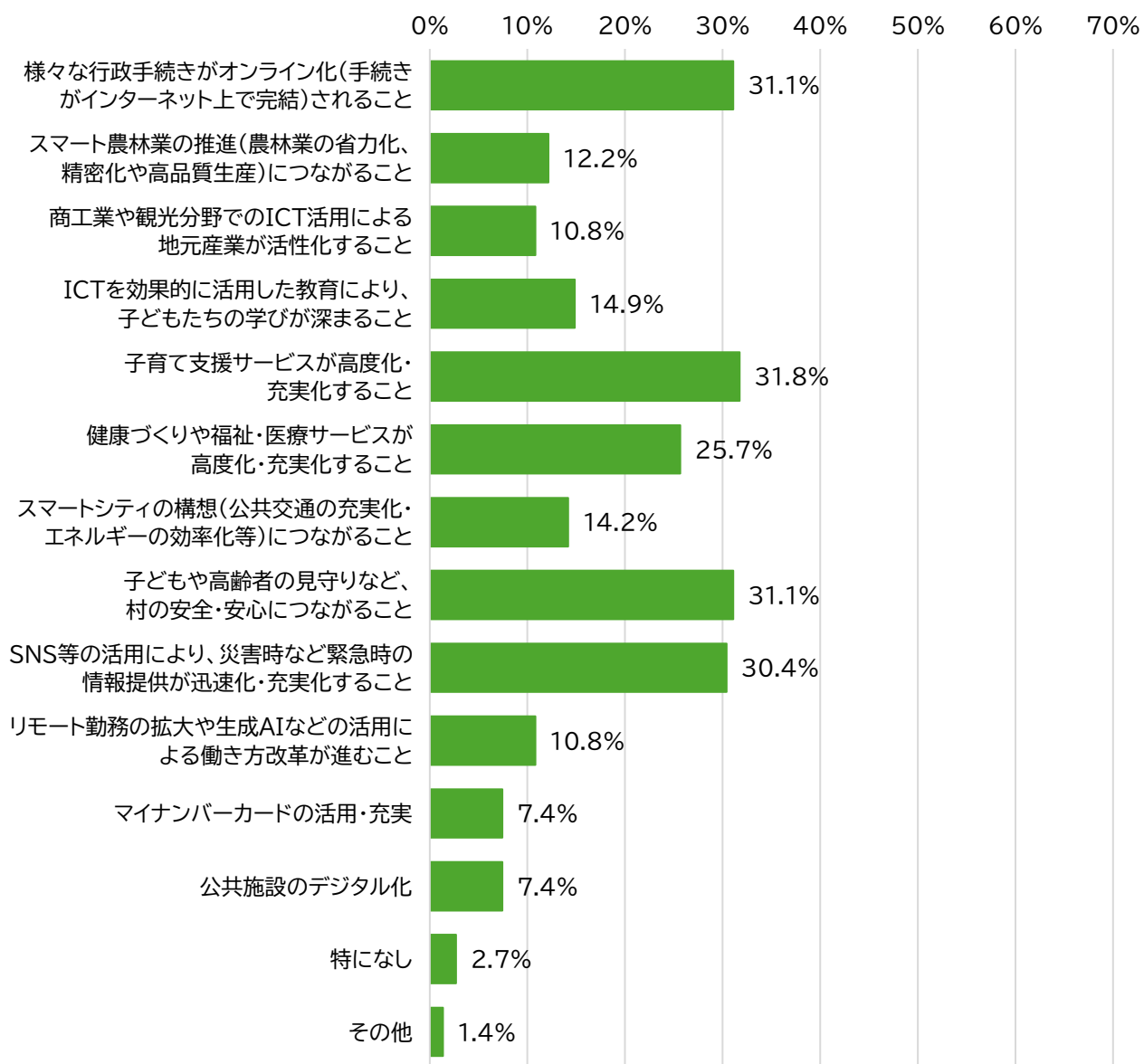
■ 今回【R6】(n=547)

地域社会のデジタル化 ①19 歳以上



■ 今回【R6】(n=240)

地域社会のデジタル化 ②転入者



■ 今回【R6】(n=148)

地域社会のデジタル化 ③高校生世代

【回答者の属性別結果】

この項目では性別による大きな差はありませんでした。

属性別でみると、全体の第1位「子どもや高齢者の見守りなど、村の安全・安心につながること」は、「③高校生世代：男性」を除いてすべての属性の上位3位以内に含まれており、性別・世代を問わず地域社会でのデジタル化が期待されている項目といえます。

年代別でみると、10代～50代の現役世代(生産年齢人口の大多数)において「様々な行政手続きがオンライン化(手続きがインターネット上で完結)されること」が第1位であり、また60代～70歳以上の高齢世代(老年人口の大多数)において「健康づくりや福祉・医療サービスが高度化・充実化すること」が第1位であり、年代によって地域社会のデジタル化で期待される項目は大きく異なるといえます。

		第1位	第2位	第3位
全体(n=935)		子どもや高齢者の見守りなど、村の安全・安心につながること 35.2%	健康づくりや福祉・医療サービスが高度化・充実化すること 34.9%	様々な行政手続きがオンライン化(手続きがインターネット上で完結)されること 33.6%
性別	男性(n=426)	様々な行政手続きがオンライン化(手続きがインターネット上で完結)されること 38.5%	健康づくりや福祉・医療サービスが高度化・充実化すること 30.5%	子どもや高齢者の見守りなど、村の安全・安心につながること 28.9%
	女性(n=497)	子どもや高齢者の見守りなど、村の安全・安心につながること 40.6%	健康づくりや福祉・医療サービスが高度化・充実化すること 38.8%	様々な行政手続きがオンライン化(手続きがインターネット上で完結)されること 29.6%
①19歳以上 全体(n=547)		健康づくりや福祉・医療サービスが高度化・充実化すること 42.2%	子どもや高齢者の見守りなど、村の安全・安心につながること 37.8%	様々な行政手続きがオンライン化(手続きがインターネット上で完結)されること 28.3%
①19歳以上性別	男性(n=263)	健康づくりや福祉・医療サービスが高度化・充実化すること 38.0%	様々な行政手続きがオンライン化(手続きがインターネット上で完結)されること 34.2%	子どもや高齢者の見守りなど、村の安全・安心につながること 33.5%
	女性(n=277)	健康づくりや福祉・医療サービスが高度化・充実化すること 46.2%	子どもや高齢者の見守りなど、村の安全・安心につながること 42.2%	様々な行政手続きがオンライン化(手続きがインターネット上で完結)されること 23.1%
②転入者 全体(n=240)		様々な行政手続きがオンライン化(手続きがインターネット上で完結)されること 47.1%	子育て支援サービスが高度化・充実化すること 33.8%	子どもや高齢者の見守りなど、村の安全・安心につながること 31.7%
②転入者性別	男性(n=103)	様々な行政手続きがオンライン化(手続きがインターネット上で完結)されること 49.5%	子育て支援サービスが高度化・充実化すること 32.0%	子どもや高齢者の見守りなど、村の安全・安心につながること 24.3%
	女性(n=137)	様々な行政手続きがオンライン化(手続きがインターネット上で完結)されること 45.3%	子どもや高齢者の見守りなど、村の安全・安心につながること 37.2%	子育て支援サービスが高度化・充実化すること 35.0%
③高校生世代 全体(n=148)		子育て支援サービスが高度化・充実化すること 31.8%	様々な行政手続きがオンライン化(手続きがインターネット上で完結)されること 31.1%	子どもや高齢者の見守りなど、村の安全・安心につながること 31.1%

③ 高 校 生 世 代 性 別	男性 (n=60)	様々な行政手続きがオンライン化(手続きがインターネット上で完結)されること 38.3%	子育て支援サービスが高度化・充実化すること 23.3%	SNS等の活用により、災害時など緊急時の情報提供が迅速化・充実化すること 21.7%
	女性 (n=83)	子どもや高齢者の見守りなど、村の安全・安心につながることに 41.0%	子育て支援サービスが高度化・充実化すること 39.8%	健康づくりや福祉・医療サービスが高度化・充実化すること 37.3%
年 代 別	19～29 歳 (n=57)	様々な行政手続きがオンライン化(手続きがインターネット上で完結)されること 56.1%	子育て支援サービスが高度化・充実化すること 43.9%	子どもや高齢者の見守りなど、村の安全・安心につながることに 29.8%
	30～39 歳 (n=103)	様々な行政手続きがオンライン化(手続きがインターネット上で完結)されること 53.4%	子育て支援サービスが高度化・充実化すること 41.7%	子どもや高齢者の見守りなど、村の安全・安心につながることに 33.0%
	40～49 歳 (n=137)	様々な行政手続きがオンライン化(手続きがインターネット上で完結)されること 51.8%	子どもや高齢者の見守りなど、村の安全・安心につながることに 29.2%	子育て支援サービスが高度化・充実化すること 27.0%
	50～59 歳 (n=121)	様々な行政手続きがオンライン化(手続きがインターネット上で完結)されること 42.1%	子どもや高齢者の見守りなど、村の安全・安心につながることに 29.8%	健康づくりや福祉・医療サービスが高度化・充実化すること 28.9%
	60～69 歳 (n=130)	健康づくりや福祉・医療サービスが高度化・充実化すること 46.2%	子どもや高齢者の見守りなど、村の安全・安心につながることに 40.0%	様々な行政手続きがオンライン化(手続きがインターネット上で完結)されること 23.8%
	70 歳以上 (n=233)	健康づくりや福祉・医療サービスが高度化・充実化すること 50.6%	子どもや高齢者の見守りなど、村の安全・安心につながることに 44.2%	商工業や観光分野での ICT 活用による地元産業が活性化すること 18.0%

2-6 転入者の傾向について(②転入者)

(1) 住宅の所有

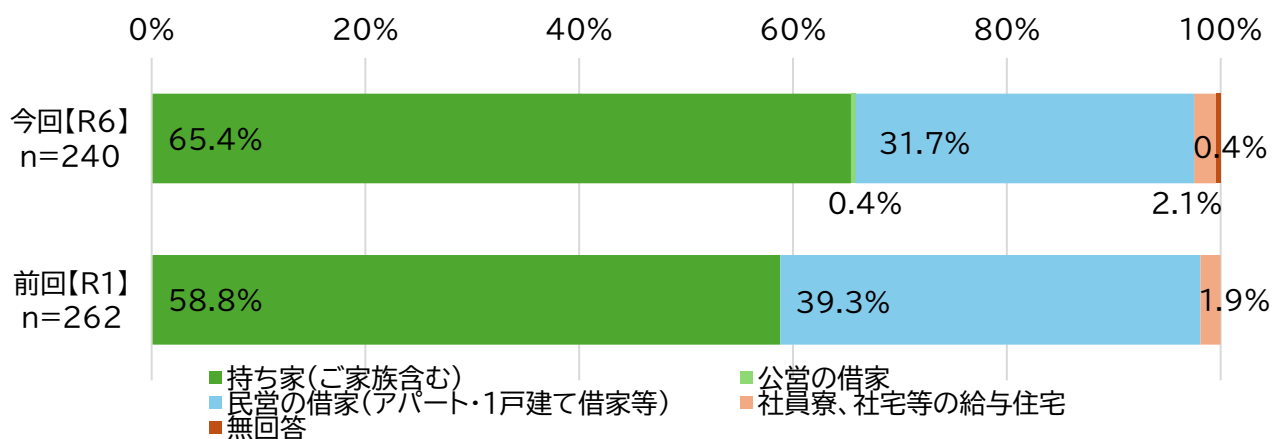
問 現在住んでいる住宅の所有関係はどれですか。(1 つに○印)

「持ち家(ご家族含む)」が第 1 位。

次いで「民営の借家(アパート・1 戸建て借家等)」の順。

「持ち家(ご家族含む)」が 65.4%と最も多く、次いで「民営の借家(アパート・1 戸建て借家等)」(31.7%)となっています。

前回調査と比較すると、「持ち家(ご家族含む)」が 6.6 ポイント増加し、「民営の借家(アパート・1 戸建て借家等)」が 7.6 ポイント減少しています。



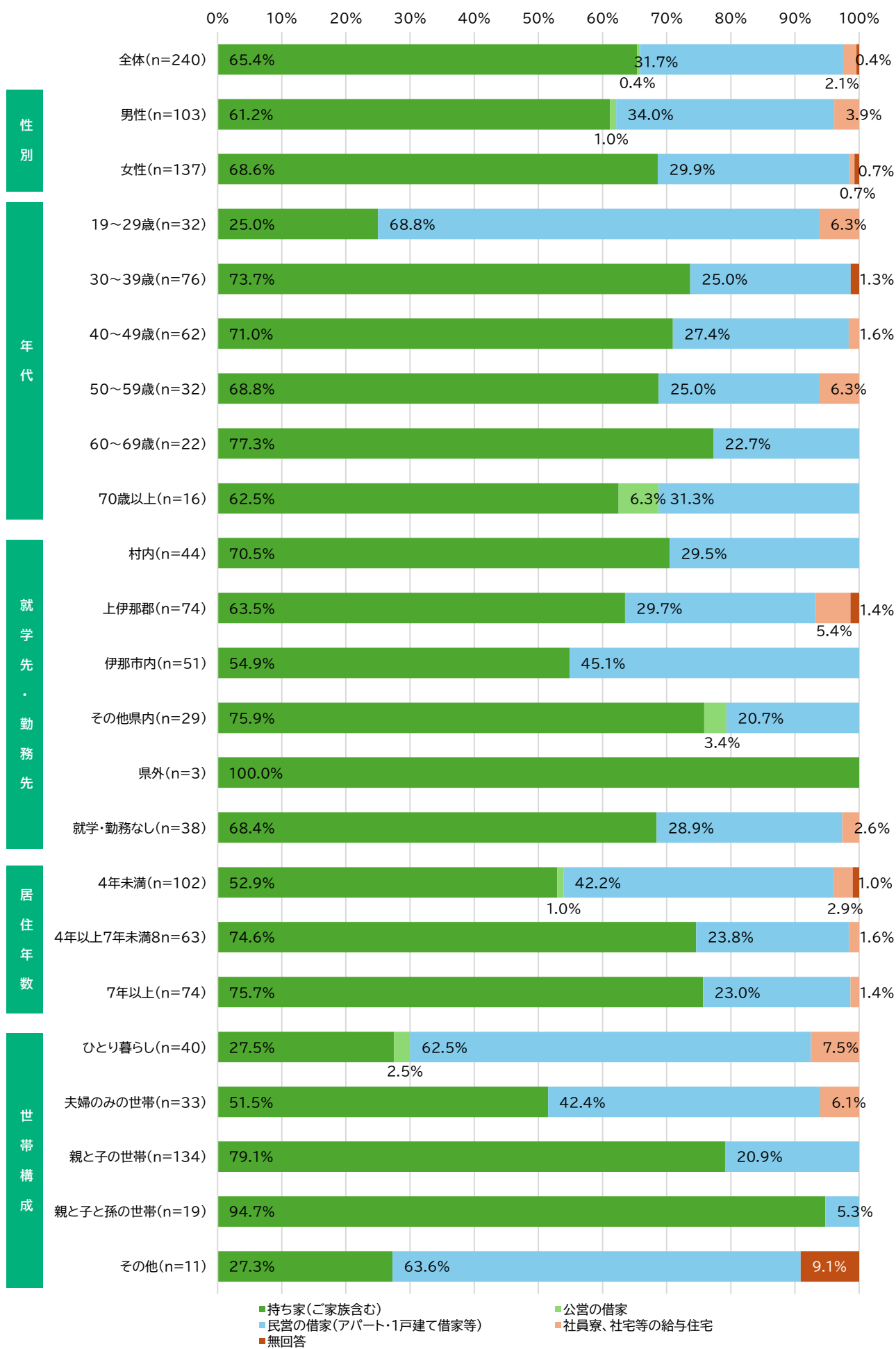
【回答者の属性別結果】

性別でみると、「女性」の「持ち家(ご家族含む)」が 68.6%と、「男性」(61.2%)よりやや高くなっています。

年齢でみると、「60～69歳」の「持ち家(ご家族含む)」が 77.3%と最も高く、「19～29 歳」(25.0%)が最も低くなっています。

就学先・勤務先でみると、「伊那市内」の「持ち家(ご家族含む)」が 54.9%と最も低くなっています。

世帯構成でみると、「ひとり暮らし」の「持ち家(ご家族含む)」が 27.5%と最も低くなっています。

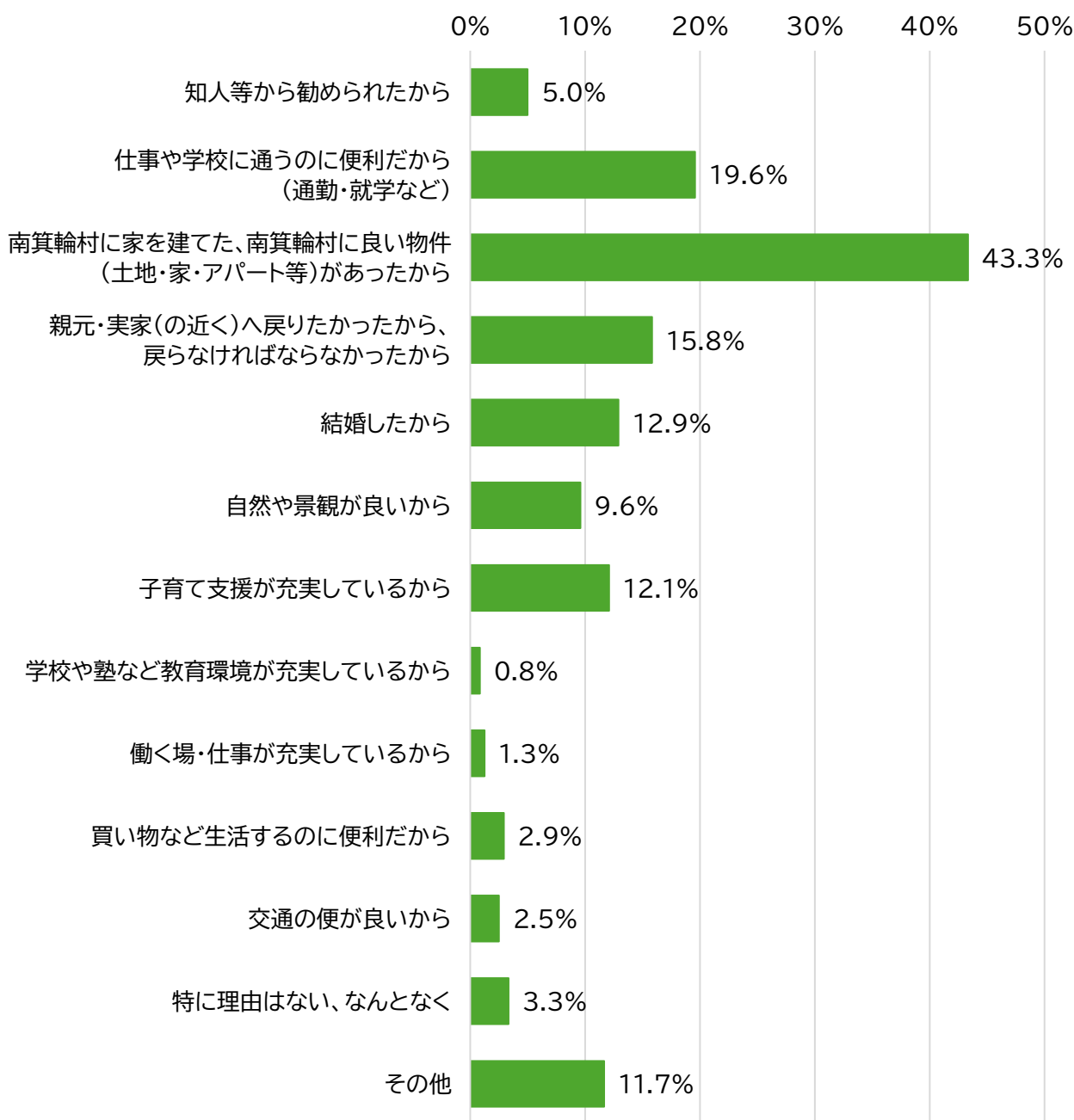


(2) 転入理由

問 南箕輪村へ転入されてきた理由は何ですか。(2 つまで○印)

「南箕輪村に家を建てた、南箕輪村に良い物件(土地・家・アパート等)があったから」が 43.3%と最も多い。

「南箕輪村に家を建てた、南箕輪村に良い物件(土地・家・アパート等)があったから」が 43.3%と最も多く、次いで「仕事や学校に通うのに便利だから(通勤・就学など)」(19.6%)、「親元・実家(の近く)へ戻りたかったから、戻らなければならなかったから」(15.8%)などの順になっています。



■ 今回【R6】(n=240)

(3) 区・組について

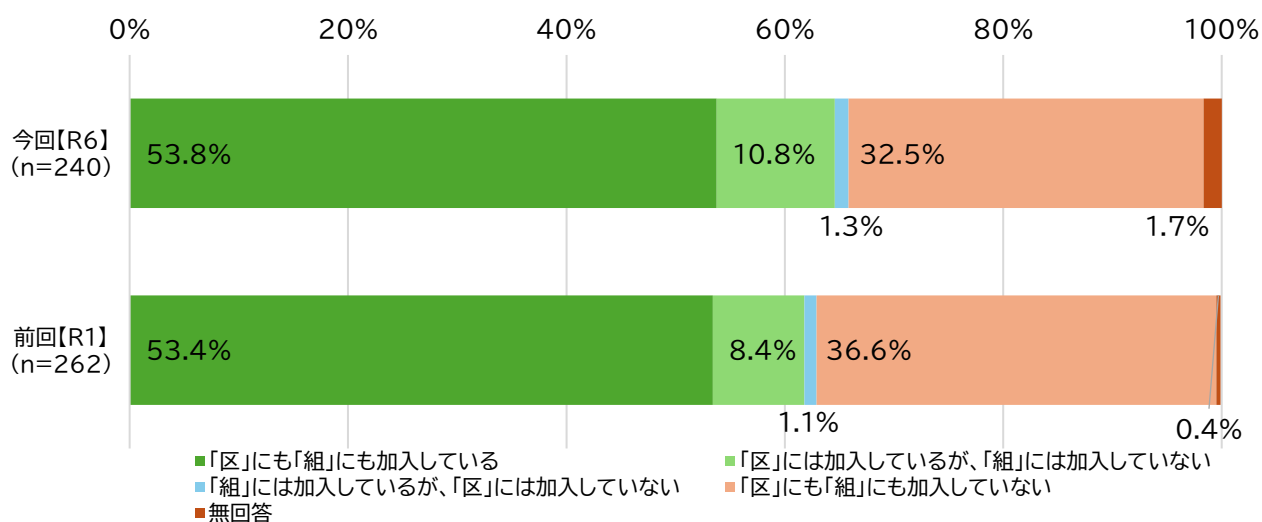
(3)-1 区・組への加入状況

問 あなたは、「区」・「組」に加入していますか。(1 つに○印)

「区にも組にも加入している」が 53.8%と最も高く、次いで「区に組みにも加入していない」(32.5%)

転入後の区や組みの加入状況については、「区にも組にも加入している」が 53.8%と最も高く、次いで「区に組みにも加入していない」(32.5%)となっています。

前回調査と比較すると、「区にも組にも加入している」が 0.4 ポイント増加し、「区」と「組」のいずれかに加入している割合では今回(65.9%)は前回(62.9%)よりも 3.0 ポイント増加しています。



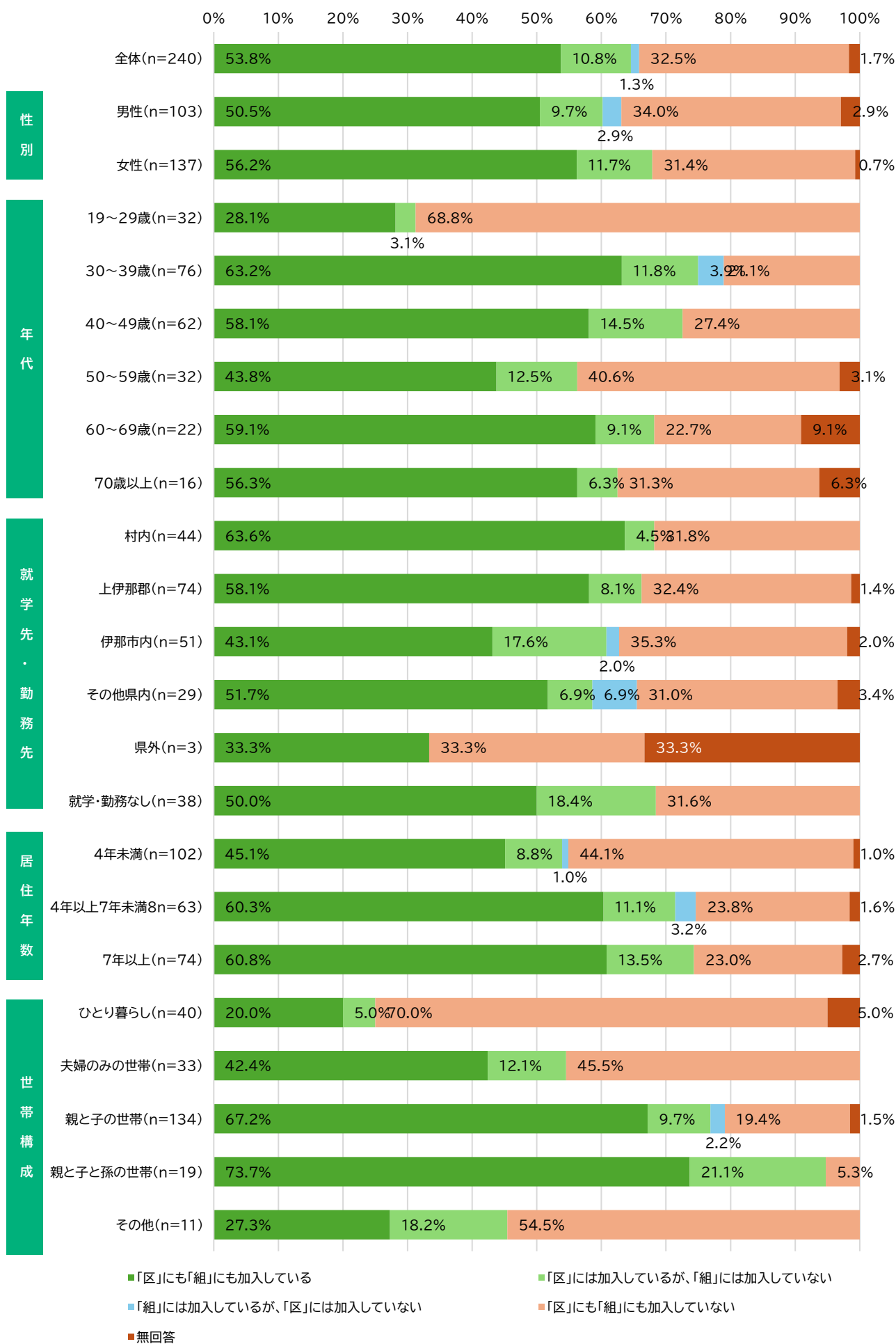
【回答者の属性別結果】

性別でみると、男女の差はあまりありませんでした。

年齢でみると、「30～39歳」の「区にも組にも加入している」が 63.2%と最も高く、「19～29 歳」(28.1%)が最も低くなっています。

就学先・勤務先でみると、「県外」の「区にも組にも加入している」が 33.3%と最も低くなっています。

世帯構成でみると、「ひとり暮らし」の「区にも組にも加入している」が 20.0%と最も低くなっています。



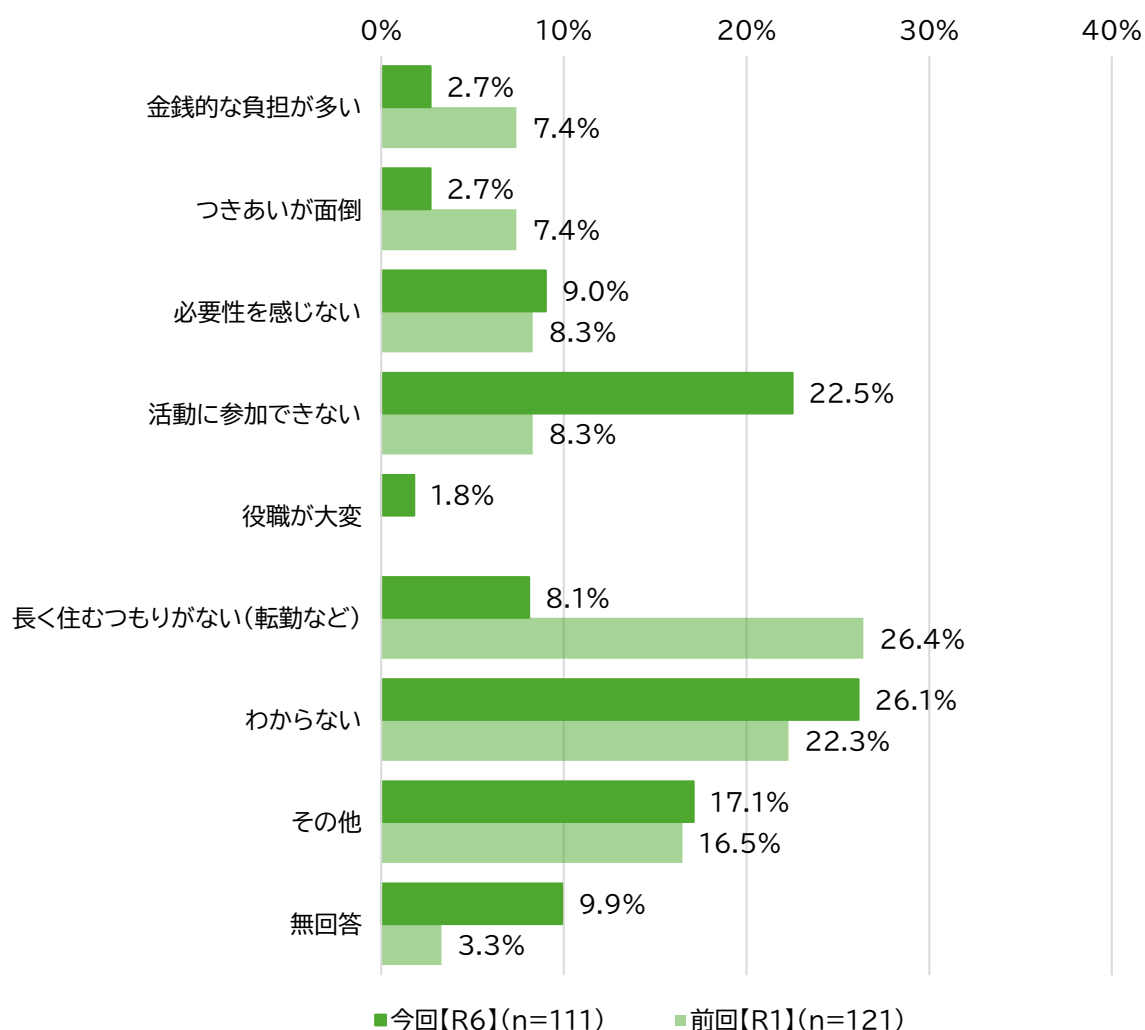
(3)-2 区・組へ加入しない理由

問 前問で「2. 3. 4.」に回答された方にご質問します。
加入していない理由をお聞かせください。(1 つに○印)

「わからない」が 26.1%と最も高く、次いで「活動に参加できない」(22.5%)

「区には加入しているが、組には加入していない」、「組には加入しているが、区には加入していない」、「区にも組にも加入していない」、「無回答」のどれかに回答した 111 名の方に、加入していない理由をきいたところ、「わからない」が 26.1%と最も多く、次いで「活動に参加できない」(22.5%)、「必要性を感じない」(9.0%)といった順になっています(「その他」を除く)。

前回調査と比較すると、「長く住むつもりがない(転勤など)」が 18.3 ポイントと大きく減少している反面、「活動に参加できない」が 14.3 ポイントと大きく増加しています。



(3)-3 区・組への加入についての考え

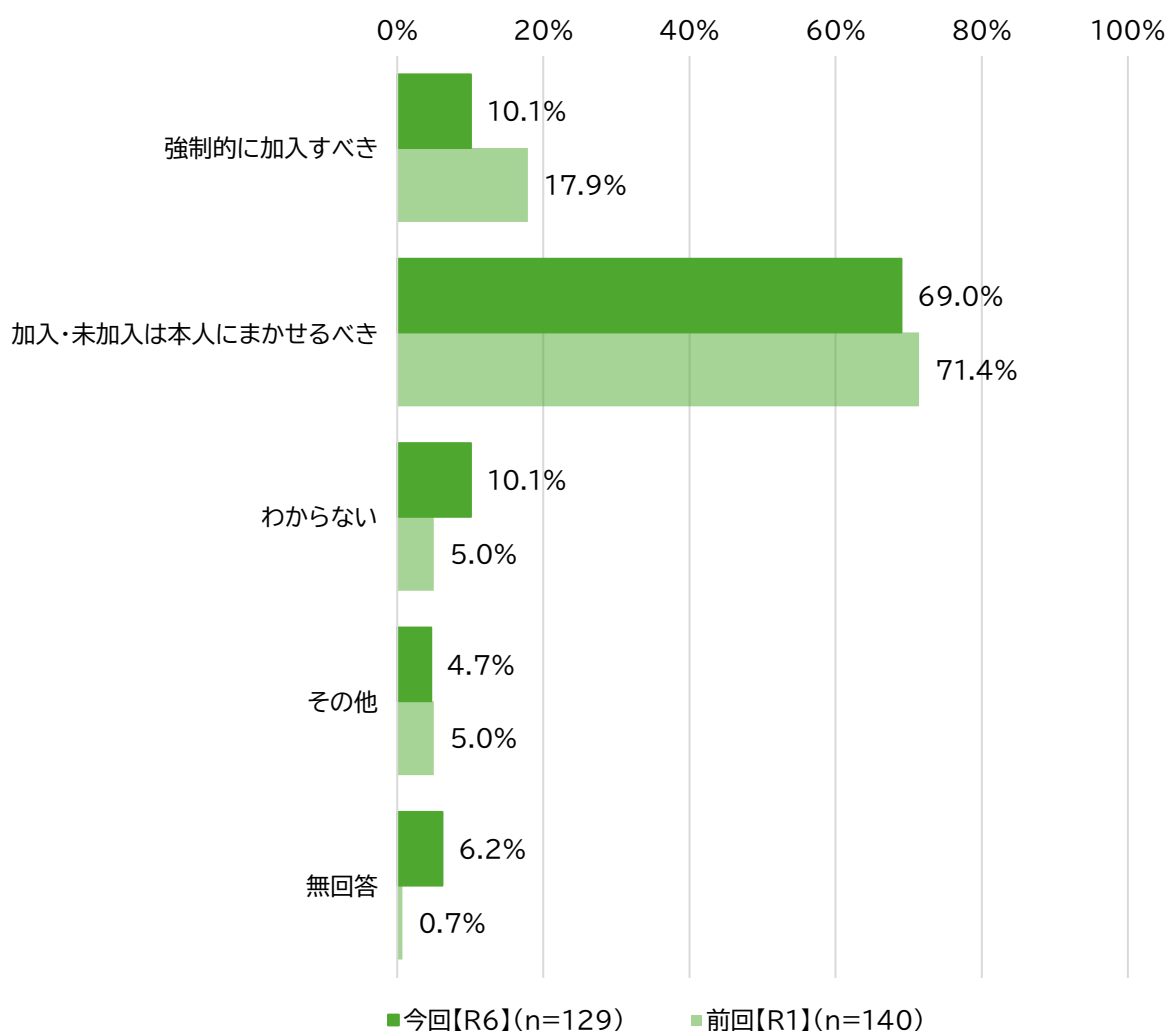
問 前問で「1.」に回答された方にご質問します。

「区」や「組」への加入についてのお考えをお聞かせください。(1 つに○印)

「加入・未加入は本人にまかせるべき」が 69.0%と他を大きく引き離して第 1 位。

区や組への加入については、「加入・未加入は本人にまかせるべき」(69.0%)が他を大きく引き離して第1位にあげられ、次いで「強制的に加入すべき」(10.1%)、「わからない」(10.1%)などの順となっています。

前回調査と比較すると、「強制的に加入すべき」が 7.8 ポイント減少しています。



(4) 転入する際の情報収集など

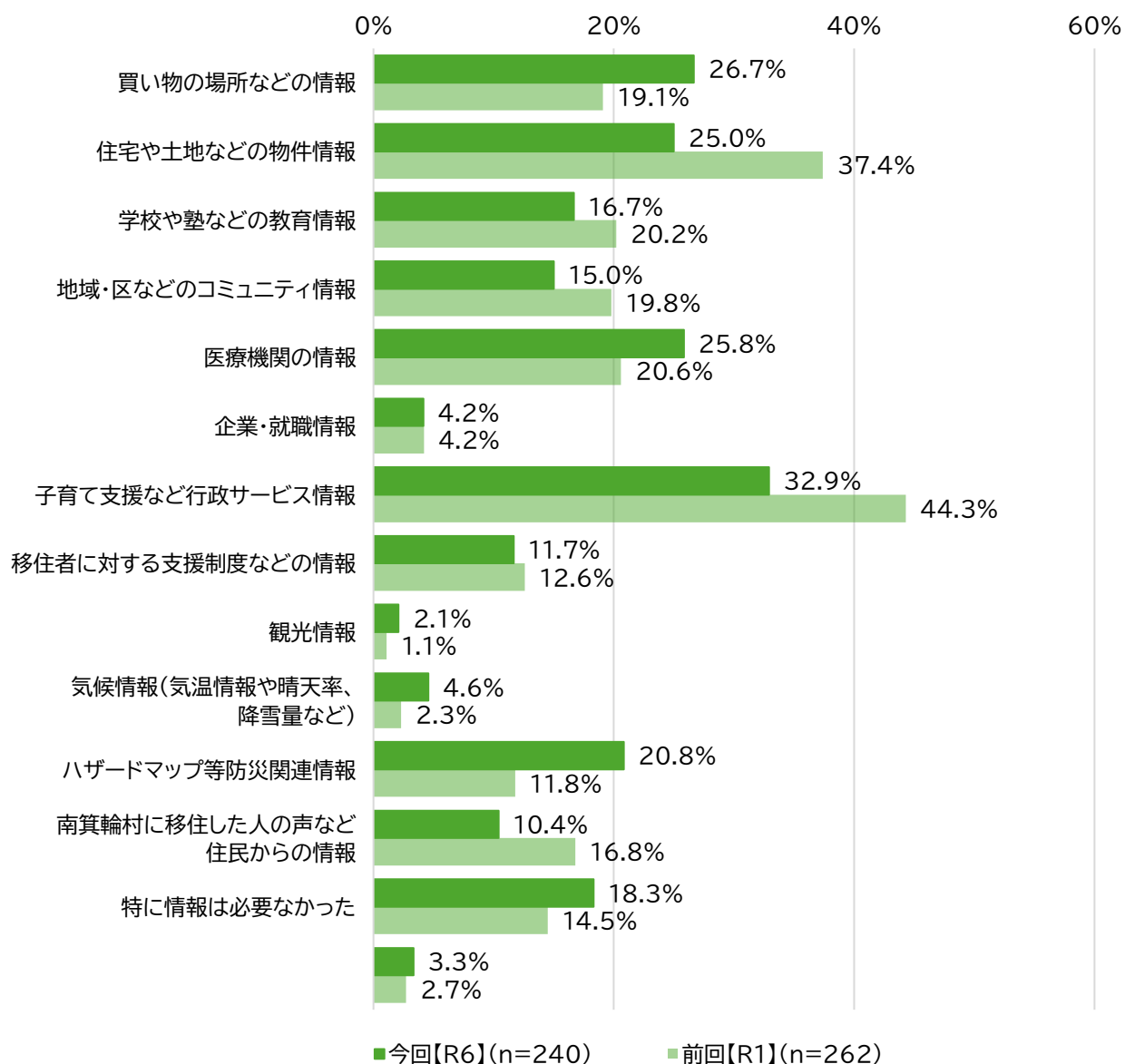
(4)-1 転入する際に必要だった情報

問 南箕輪村に転入するにあたり、特にどのような村の情報が必要でしたか。(3 つまで○印)

「子育て支援など行政サービス情報」が 32.9%で最も高く、次いで「買い物の場所などの情報」(26.7%)

転入の際に必要であった村の情報については、第1位が「子育て支援など行政サービス情報」(32.9%)、次いで「買い物の場所などの情報」(26.7%)、「医療機関の情報」(25.8%)、「住宅や土地などの物件情報」(25.0%)、「ハザードマップ等防災関連情報」(20.8%)などの順となっています。

前回調査と比較すると、「子育て支援など行政サービス情報」(11.4 ポイント減少)、「住宅や土地などの物件情報」(12.4 ポイント減少)と大きく減少しています。その反面、「買い物の場所などの情報」が 7.6 ポイント増加、「ハザードマップ等防災関連情報」が 9.0 ポイント増加しているなどとなっています。



【回答者の属性別結果】

性別でみると、男女とも「子育て支援など行政サービス情報」が第1位でした。次いで、男性は「住宅や土地などの物件情報」(26.2%)、「ハザードマップ等防災関連情報」(22.3%)に対し、女性は「買い物の場所などの情報」(30.7%)、「医療機関の情報」(30.7%)となっています。

年齢でみると、「19～29歳」は「買い物の場所などの情報」が46.9%と最も高く、「30～39歳」・「40～49歳」は「子育て支援など行政サービス情報」がそれぞれ48.7%、41.9%と最も高くなっています。また、「50～59歳」は「住宅や土地などの物件情報」が34.4%と最も高く、「60～69歳」・「70歳以上」は「医療機関の情報」が31.8%、43.8%と最も高くなっています。

		第1位	第2位	第3位
全体(n=240)		子育て支援など行政サービス情報 32.9%	買い物の場所などの情報 26.7%	医療機関の情報 25.8%
性別	男性 (n=103)	子育て支援など行政サービス情報 30.1%	住宅や土地などの物件情報 26.2%	ハザードマップ等防災関連情報 22.3%
	女性 (n=137)	子育て支援など行政サービス情報 35.0%	買い物の場所などの情報 30.7%	医療機関の情報 30.7%
年代別	19～29歳 (n=32)	買い物の場所などの情報 46.9%	ハザードマップ等防災関連情報 37.5%	子育て支援など行政サービス情報 31.3%
	30～39歳 (n=76)	子育て支援など行政サービス情報 48.7%	住宅や土地などの物件情報 25.0%	買い物の場所などの情報 23.7%
	40～49歳 (n=62)	子育て支援など行政サービス情報 41.9%	学校や塾などの教育情報 27.4%	医療機関の情報 27.4%
	50～59歳 (n=32)	住宅や土地などの物件情報 34.4%	医療機関の情報 31.3%	買い物の場所などの情報 28.1%
	60～69歳 (n=22)	医療機関の情報 31.8%	買い物の場所などの情報 22.7%	住宅や土地などの物件情報 18.2%
	70歳以上 (n=16)	医療機関の情報 43.8%	移住者に対する支援制度などの情報 37.5%	住宅や土地などの物件情報 31.3%

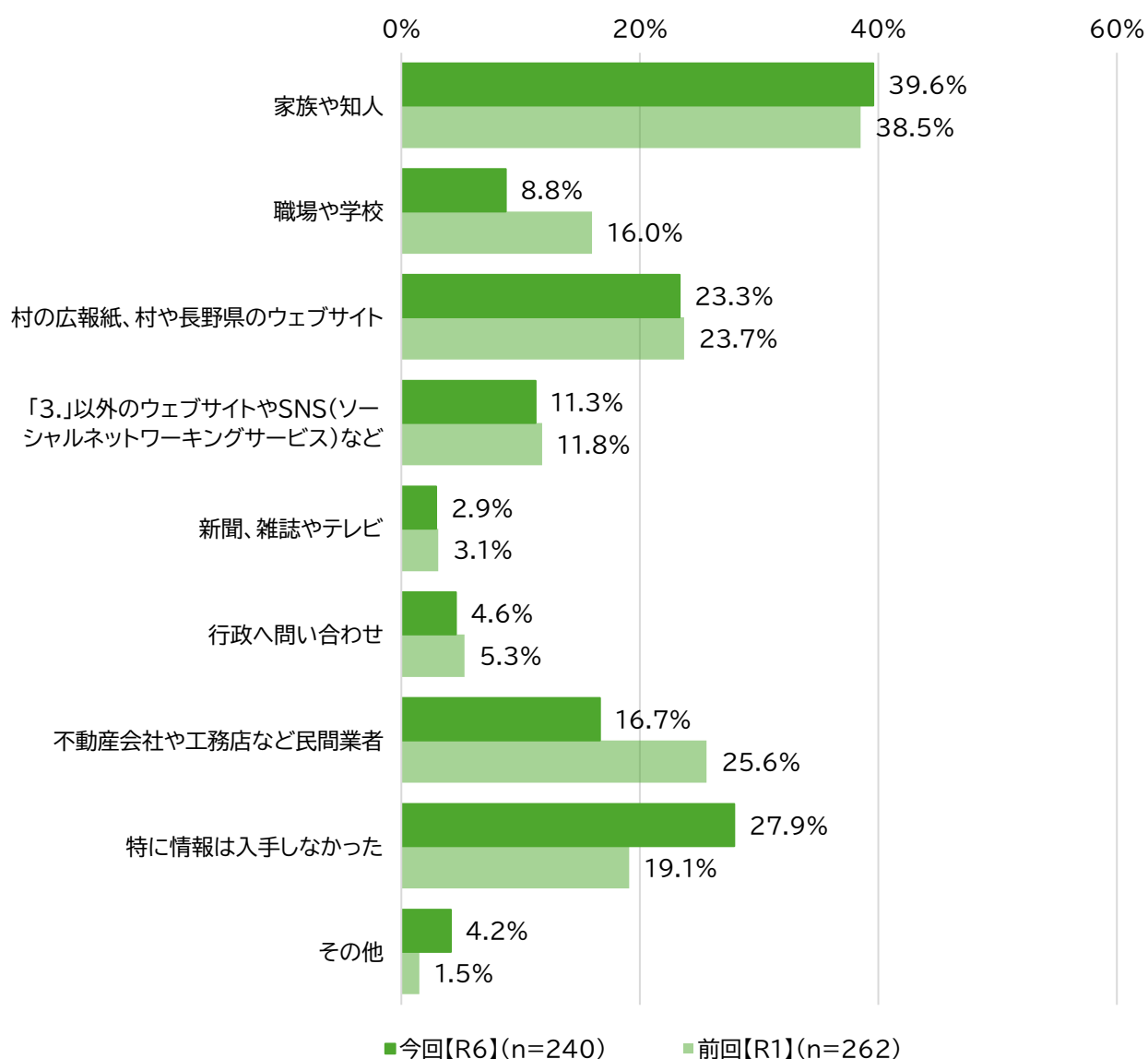
(4)-2 転入する際の情報の入手方法

問 南箕輪村に転入してくる際、村などの情報はどのようにして入手しましたか。(2 つまで○印)

「家族や知人」が 39.6%で最も高く、次いで「特に情報は入手なかった」(27.9%)

転入時における村などの情報の入手方法については、第1位が「家族や知人」(39.6%)、次いで「特に情報は入手しなかった」(27.9%)、「村の広報紙、村や長野県のウェブサイト」(23.3%)、「不動産会社や工務店など民間業者」(16.7%)、などの順となっています。

前回調査と比較すると、「家族や知人」が 1.1 ポイント増加、「特に情報は入手しなかった」が 8.8 ポイント増加となっています。その反面、「不動産会社や工務店など民間業者」が 8.9 ポイント減少、「職場や学校」が 7.2 ポイント減少となっています。



【回答者の属性別結果】

性別でみると、男女とも大きな差はありませんでした。

年齢でみると、情報の入手方法は概ね「家族や知人」・「特に情報は入手しなかった」となっていますが、「19 歳～30 代」は「村の広報紙、村や長野県のウェブサイト」、「40 代～70 代」では「不動産会社や工務店など民間業者」から情報を入手する傾向が高いといえます。

		第 1 位	第 2 位	第 3 位
全体(n=240)		家族や知人 39.6%	特に情報は入手しなかった 27.9%	村の広報紙、村や長野県のウェブサイト 23.3%
性別	男性 (n=103)	家族や知人 38.8%	特に情報は入手しなかった 25.2%	村の広報紙、村や長野県のウェブサイト 19.4%
	女性 (n=137)	家族や知人 40.1%	特に情報は入手しなかった 29.9%	村の広報紙、村や長野県のウェブサイト 26.3%
年代別	19～29 歳 (n=32)	家族や知人 34.4%	特に情報は入手しなかった 34.4%	村の広報紙、村や長野県のウェブサイト 25.0%
	30～39 歳 (n=76)	家族や知人 51.3%	村の広報紙、村や長野県のウェブサイト 35.5%	特に情報は入手しなかった 19.7%
	40～49 歳 (n=62)	家族や知人 38.7%	特に情報は入手しなかった 24.2%	不動産会社や工務店など民間業者 21.0%
	50～59 歳 (n=32)	特に情報は入手しなかった 34.4%	家族や知人 25.0%	不動産会社や工務店など民間業者 18.8%
	60～69 歳 (n=22)	特に情報は入手しなかった 36.4%	家族や知人 22.7%	不動産会社や工務店など民間業者 22.7%
	70 歳以上 (n=16)	家族や知人 50.0%	特に情報は入手しなかった 43.8%	不動産会社や工務店など民間業者 25.0%

2-7 高校生世代の傾向について(③高校生世代)

(1) 村の住みやすさ

問 あなたにとって、南箕輪村は住みよいむらですか。(1 つに○印)

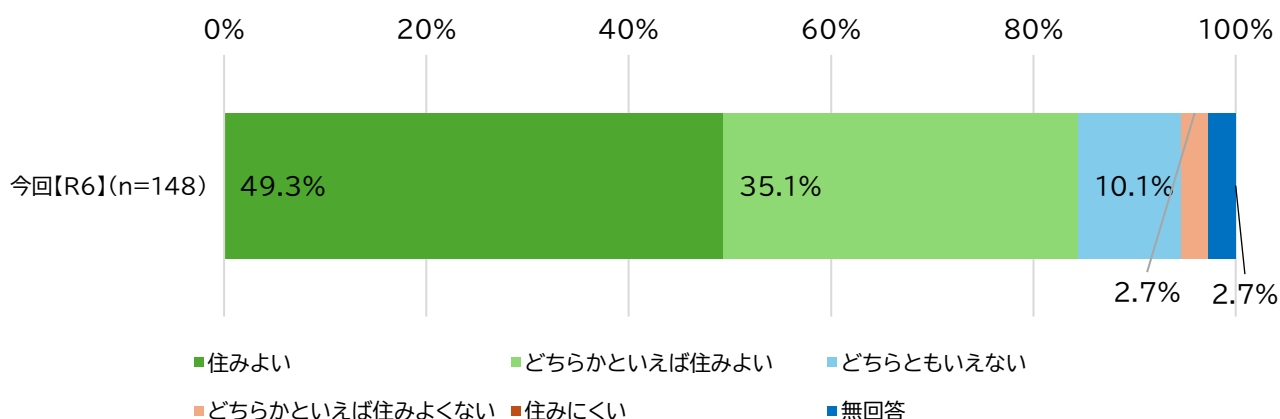
“住みやすいと感じている”は、84.5%

“住みにくと感じている”は、2.7%

高校生世代が感じる村の住みやすさについて、「住みよい」が 49.3%と最も高く、次いで「どちらかといえば住よい」が 35.1%となっています。これらを合わせた“住みやすいと感じている”は 84.5%となっています。

これに対して、「どちらかといえば住みよくない」(2.7%)、「住みにくい」(0.0%)を合わせた“住みにくと感じている”は 2.7%となっているため、高校生世代が感じる村の住みやすさは、総合的に高いといえます。

なお、「どちらともいえない」は、10.1%でした。



(2) 帰郷意識

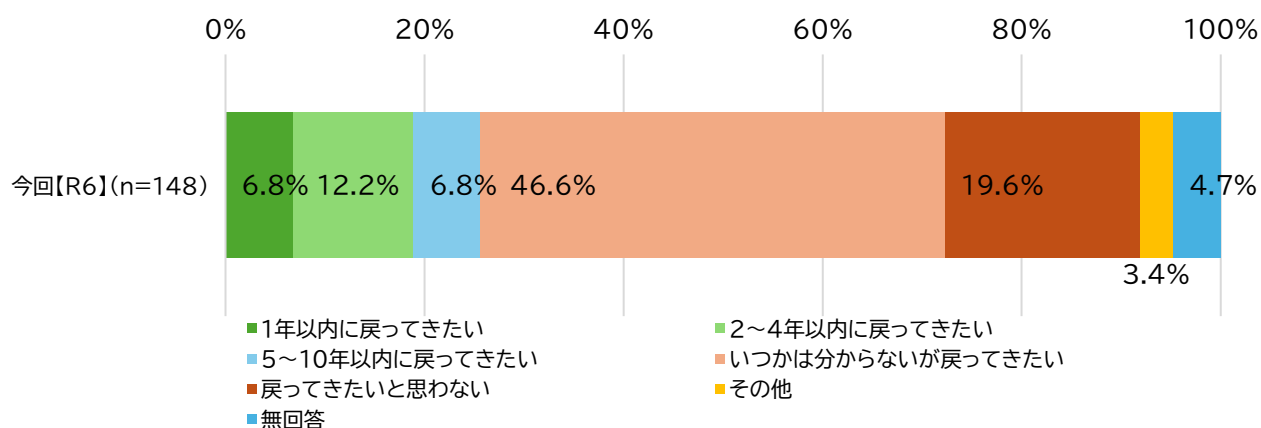
問 あなたは、今後、進学や就職等で南箕輪村を離れ、他のまちに引っ越すことになった場合、数年後に再び南箕輪村に戻ってきたいと思いますか。(1 つに○印)

“いずれ村に戻ってきたい”と考えているのは、72.3%

“村に戻ってきたくない”と考えているのは、19.6%

高校生世代の帰郷意識について、「いつかは分からないが戻ってきたい」が 46.6%と最も高く、「1 年以内に戻ってきたい」・「2～4 年以内に戻ってきたい」・「5～10 年以内に戻ってきたい」を合計した“10 年以内に戻ってきたい”の合計は 25.7%となっています。これらを合わせた“いずれ村に戻ってきたい”(帰郷意識)は 72.3%となっています。

これに対し、「戻ってきたいと思わない」(“村に戻ってきたくない”)は 19.6%となっています。



2-8 地域幸福度指数調査(ウェルビーイング調査)について (①19 歳以上、②転入者 n=787)

(1)-1 個人因子調査(5 択/35 問)

問 あなたの生活や暮らしている地域のことについて、様々な角度からおたずねします。

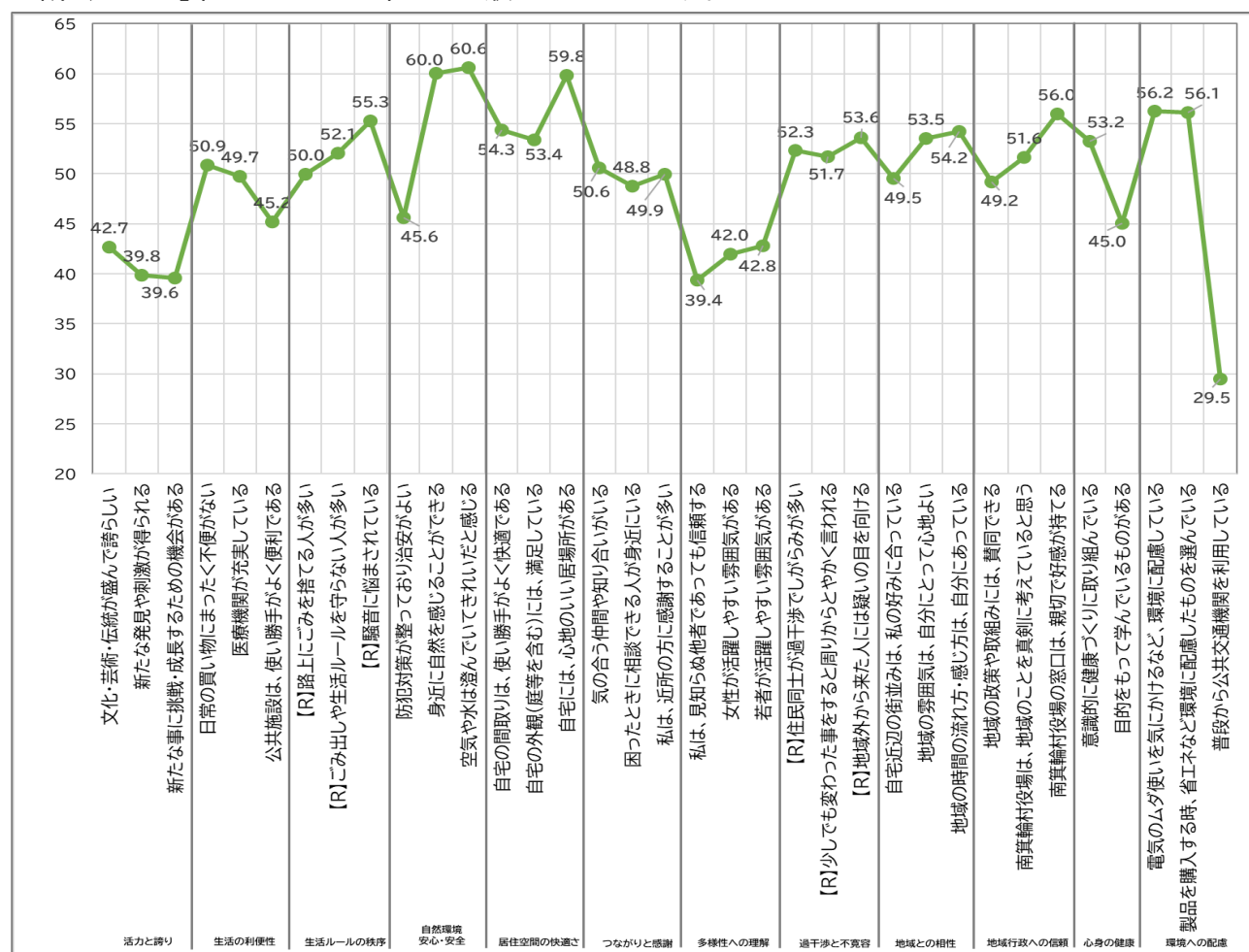
この 1 年くらいのことを振り返ってお答えください。(1 つに○印)

「空気や水は澄んでいてきれいだと感じる」が第 1 位

次いで「身近に自然を感じることができる」、「自宅には、心地のいい居場所がある」などの順

村の特徴を個人因子別でみると、「空気や水は澄んでいてきれいだと感じる」が 60.6 ポイントと最も高く、次いで「身近に自然を感じることができる」(60.0 ポイント)、「自宅には、心地のいい居場所がある」(59.8 ポイント)などの順となっています。

これに対し、「普段から公共交通機関を利用している」が 29.5 ポイントと他と比較して極端に低く、次いで「見知らぬ他者であっても信頼する」(39.4 ポイント)、「新たな事に挑戦・成長するための機会がある」(39.6 ポイント)などの順となっています。



※点数及び偏差値について

5段階の評価にそれぞれの点数を加えて、偏差値を算出しています。

(非常にあてはまる…5 点、ある程度あてはまる…4 点、どちらともいえない…3 点、あまりあてはまらない…2 点、全くあてはまらない…1 点)

ただし、設問の頭に【R】が付されているものは、点数が逆転となります。

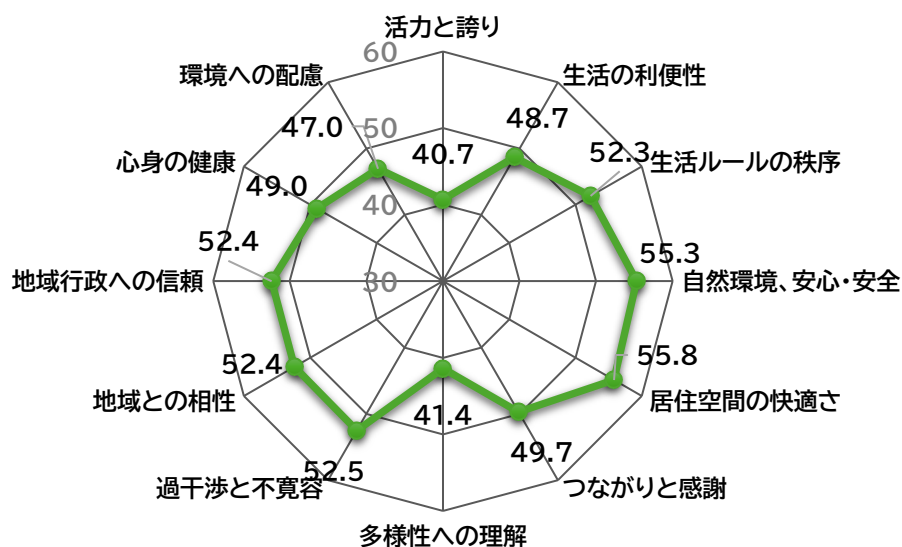
(非常にあてはまる…1 点、ある程度あてはまる…2 点、どちらともいえない…3 点、あまりあてはまらない…4 点、全くあてはまらない…5 点)

(1)-2 個人因子調査:分類毎偏差値の状況

No	項目	分類	No	項目	分類
1	暮らしている地域は、文化・芸術・伝統が盛んで誇らしい	活力と誇り	19	私は、見知らぬ他者であっても信頼する	多様性への寛容さ
2	暮らしている地域では、新たな発見や刺激が得られる		20	私の暮らしている地域には、女性が活躍しやすい雰囲気がある	
3	暮らしている地域には、新たな事に挑戦・成長するための機会がある		21	私の暮らしている地域には、若者が活躍しやすい雰囲気がある	
4	暮らしている地域は、日常の買い物にまったく不便がない	生活の利便性	22	暮らしている地域は、住民同士が過干渉でしがらみが多い	過干渉と不寛容
5	暮らしている地域は、医療機関が充実している		23	暮らしている地域では、少しでも変わった事をすると周りからとやかく言われる	
6	暮らしている地域の公共施設は、使い勝手がよく便利である		24	暮らしている地域の住民は、地域外から来た人には疑いの目を向ける	
7	暮らしている地域は、路上にごみを捨てて人が多い	生活ルールの秩序	25	自宅近辺の街並みは、私の好みに合っている	地域との相性
8	暮らしている地域は、ごみ出しや生活ルールを守らない人が多い		26	暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい	
9	自宅の近辺は、騒音に悩まされている		27	暮らしている地域の時間の流れ方・感じ方は、自分にあっている	
10	暮らしている地域は、防犯対策(交番・街灯・防犯カメラ・住民の見守り等)が整っており、治安がよい	自然環境、安心・安全	28	暮らしている地域の政策や取り組みには、賛同できる	地域行政への信頼
11	暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる		29	南箕輪村役場は、地域のことを真剣に考えていると思う	
12	暮らしている地域の空気や水は、澄んでいてきれいだと感じる		30	南箕輪村役場の窓口は、親切で好感が持てる	
13	自宅の間取りは、使い勝手がよく快適である	居住空間の快適さ	31	意識的に健康づくりに取り組んでいる	心身の健康
14	自宅の外観(庭等を含む)には、満足している		32	目的をもって学んでいるものがある(学生の方は学校以外で)	
15	自宅には、心地のいい居場所がある		33	電気のムダ使いを気にかけるなど、環境に配慮している	環境への配慮
16	暮らしている地域には、気の合う仲間や知り合いがいる	つながりと感謝	34	製品を購入する時、省エネなど環境に配慮したものを選んでいる	
17	暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる		35	普段から公共交通機関を利用している	
18	私は、近所の方に感謝することが多い				

個人因子を 12 種の分類にわけて、それぞれ偏差値をみたところ、「居住空間の快適さ」が 55.8 ポイントと最も高く、次いで「自然環境、安心・安全」(55.3 ポイント)、「過干渉と不寛容」(52.5 ポイント)といった順となっています。

それに対し、「活力と誇り」が 40.7 ポイントと最も低く、次いで「多様性への理解」(41.4 ポイント)、「環境への配慮」(47.0 ポイント)などの順となっています。



※分類毎偏差値について
分類ごとの得点(個人毎)の平均値を割り出し、中心値(全体の平均値)を偏差値 50 として偏差値を算出しました。

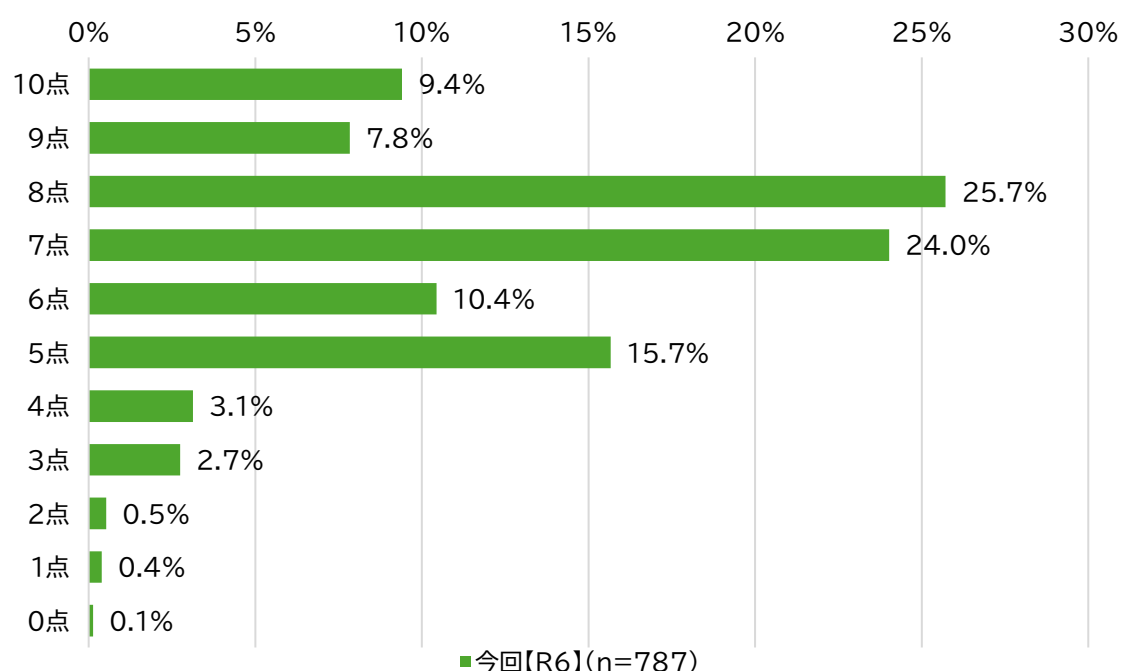
(2)-1 協調因子調査:主観的幸福度

問 あなたはどの程度幸せですか?「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を 0 点とすると何点くらいになると思いますか。(1 つに○印)

南箕輪村の主観的幸福度(平均点)は、7.02 点

回答者自身が考える幸福度を 10 点(とても幸せ)から 0 点(とても不幸)の間でみたところ、「8 点」と回答した方が 25.7%と最も多く、次いで「7 点」(24.0%)、「5 点」(15.7%)などの順となっています。

また、無回答を除く平均点は、7.02 点となりました。



【回答者の属性別結果】

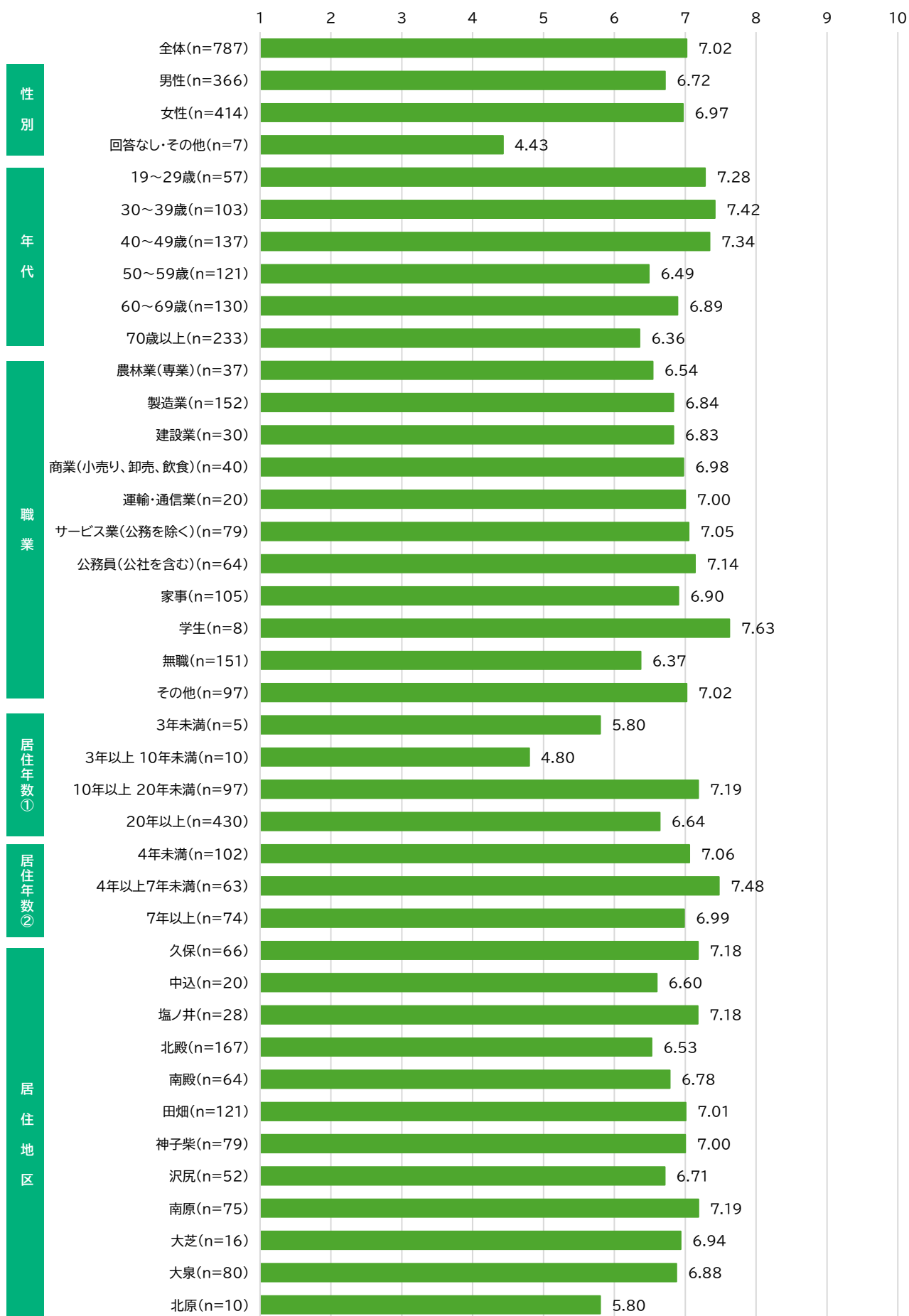
性別でみると、男女とも大きな差はありませんでした。

年代でみると、「30～39 歳」が 7.42 ポイントで最も高く、次いで「40～49 歳」(7.34 ポイント)、「10～29 歳」(7.28 ポイント)などの順となっています。

職業別でみると、「学生」が 7.63 ポイントで最も高く、次いで「公務員(公社を含む)」(7.14 ポイント)、「サービス業(公務を除く)」(7.05 ポイント)などの順となっています。

居住年数でみると、「②転入者:4 年以上 7 年未満」が 7.48 ポイントで最も高く、次いで「①19 歳以上:10 年以上 20 年未満」(7.19 ポイント)などの順となっています。

居住地区でみると、「南原地区」が 7.19 ポイントで最も高く、次いで「久保地区」・「塩ノ井地区」(共に 7.18 ポイント)などの順となっています。



(2)-2 協調因子調査:客観的幸福度

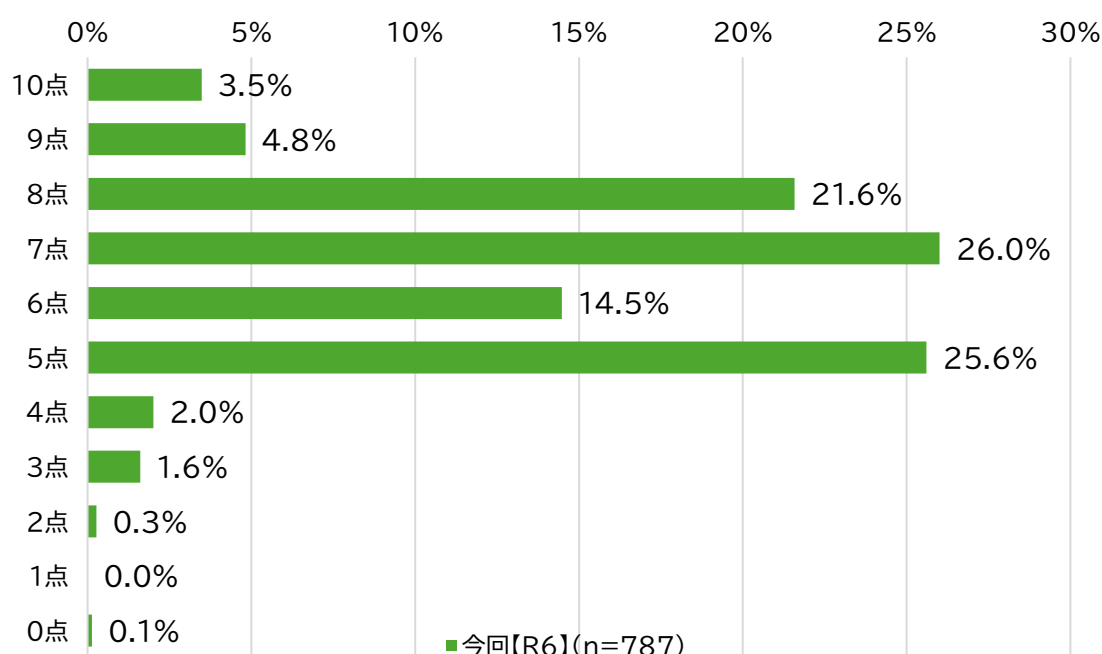
問 あなたの暮らす地域の人々は、どのくらい幸せだと思いますか？

「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を 0 点とすると何点くらいになると思いますか。(1 つに○印)

南箕輪村の客観的幸福度(平均点)は、6.61 点

回答者が客観的に見た幸福度を 10 点(とても幸せ)から 0 点(とても不幸)の間でみたところ、「7 点」と回答した方が 26.0%と最も多く、次いで「5 点」(25.6%)、「8 点」(21.6%)などの順となっています。

また、無回答を除く平均点は、6.61 点となりました。



【回答者の属性別結果】

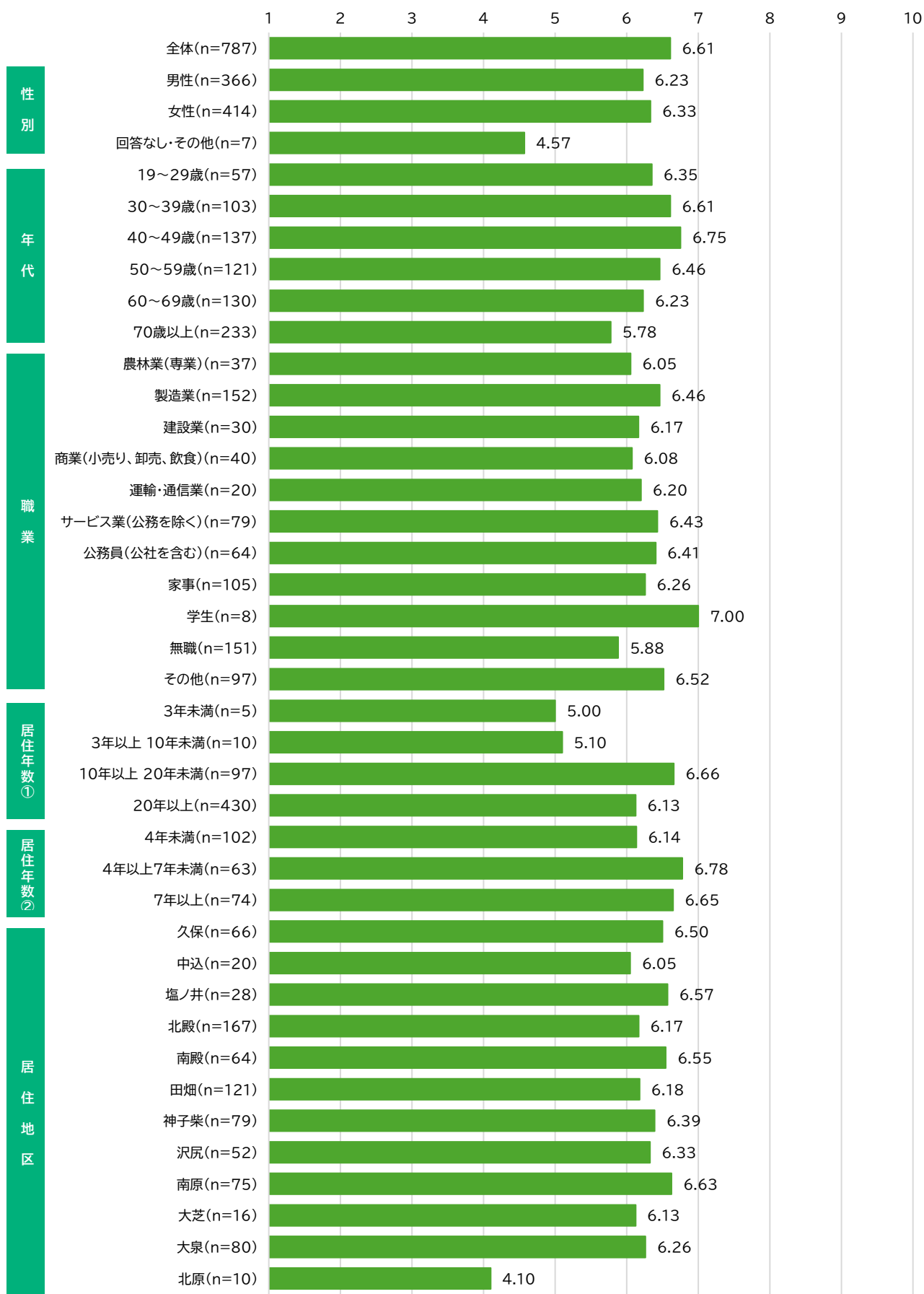
性別でみると、男女とも大きな差はありませんでした。

年代でみると、「40～49 歳」が 6.75 ポイントで最も高く、次いで「30～39 歳」(6.61 イン)、 「50～59 歳」(6.46 ポイント)などの順となっています。

職業別でみると、「学生」が 7.00 ポイントで最も高く、次いで「製造業」(6.46 ポイント)、「サービス業(公務を除く)」(6.43 ポイント)などの順となっています。

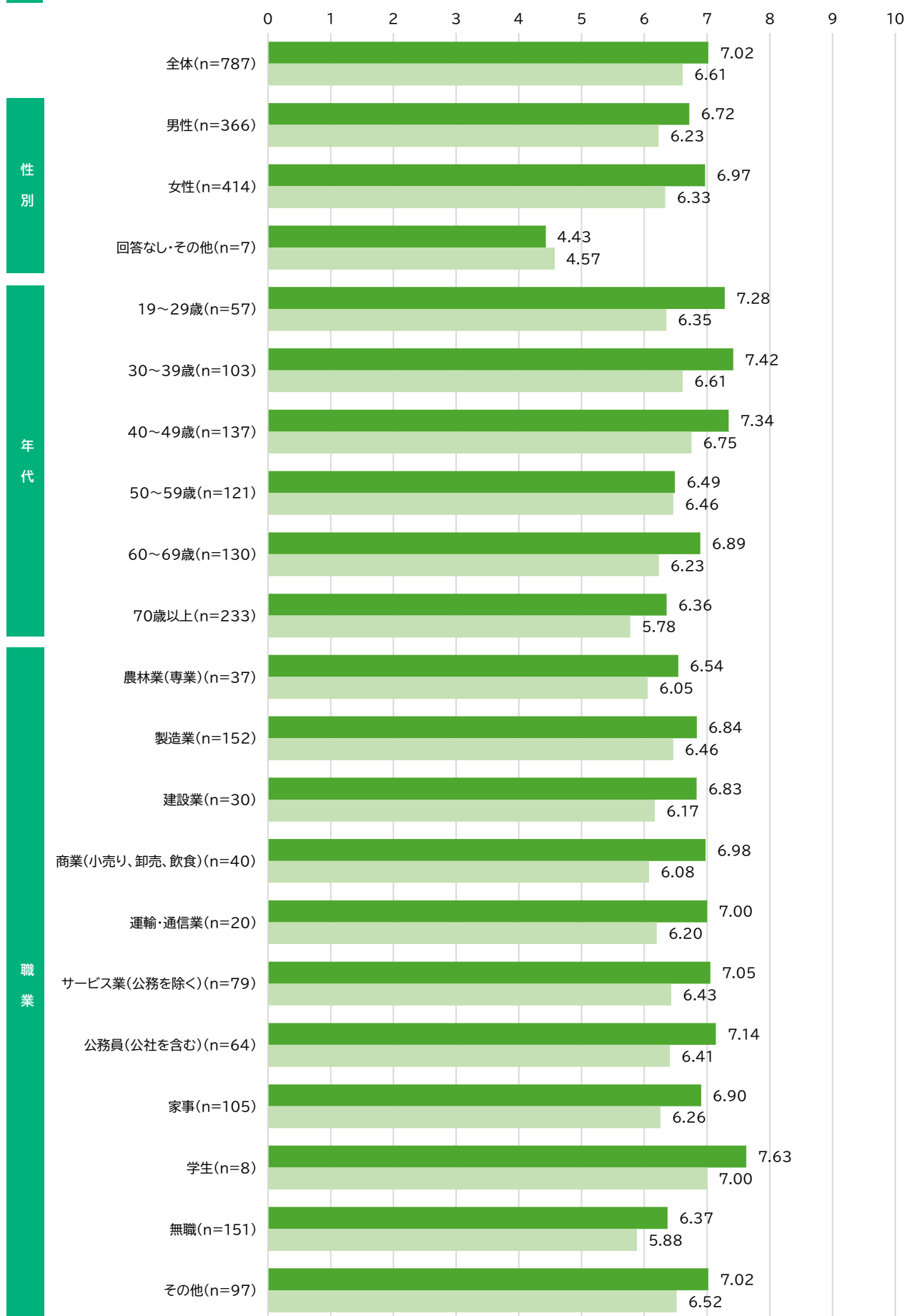
居住年数でみると、「②転入者:4 年以上 7 年未満」が 6.78 ポイントで最も高く、次いで「①19 歳以上:10 年以上 20 年未満」(6.66 ポイント)などの順となっています。

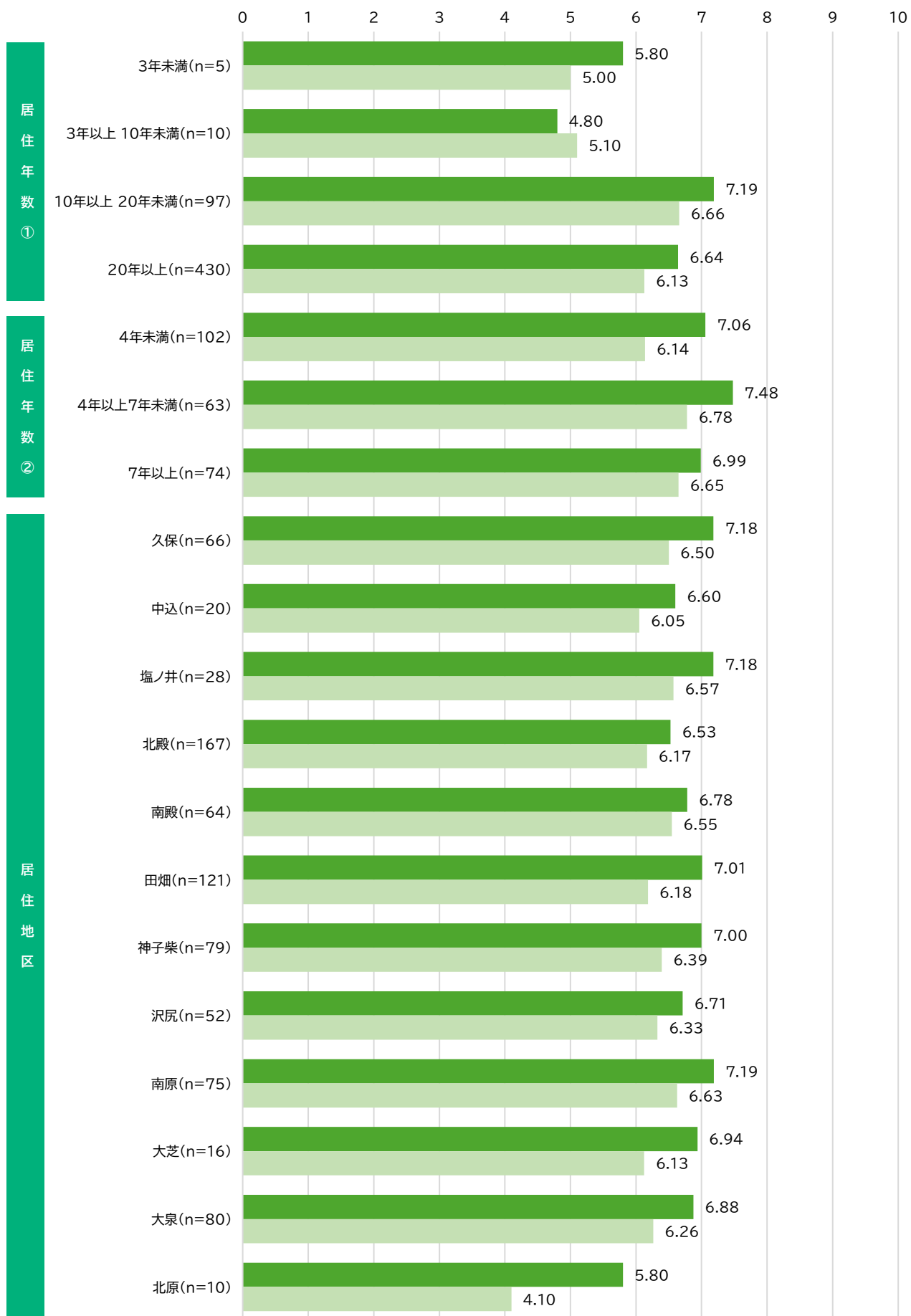
居住地区でみると、「南原地区」が 6.63 ポイントで最も高く、次いで「塩ノ井地区」(6.57 ポイント)などの順となっています。



主観的幸福度と客観的幸福度との比較

■ 主観 ■ 客観

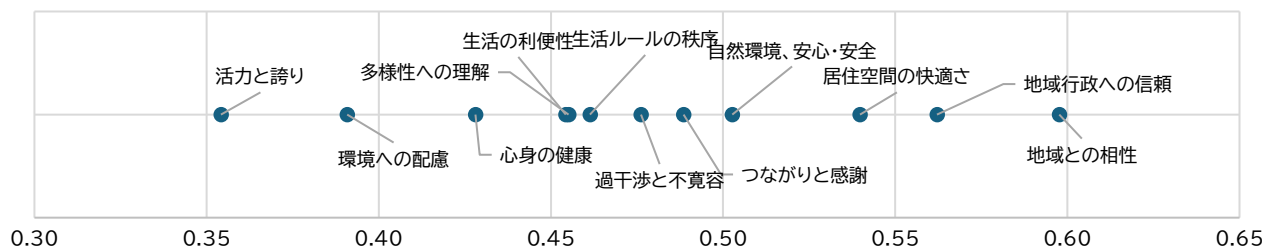




(3) 地域幸福度相関指数(分類毎と幸福度との相関関係)

個別因子と主観的幸福度との相関関係(相関指数)をみると、「地域との相性」が 0.60 ポイントと最も高く、次いで「地域行政への信頼」(0.56 ポイント)、「居住空間の快適さ」(0.54 ポイント)などの順となっています。

順位	項目	相関指数
1 位	地域との相性	0.60
2 位	地域行政への信頼	0.56
3 位	居住空間の快適さ	0.54
4 位	自然環境、安心・安全	0.50
5 位	つながりと感謝	0.49
6 位	過干渉と不寛容	0.48
7 位	生活ルールの秩序	0.46
8 位	多様性への理解	0.46
9 位	生活の利便性	0.45
10 位	心身の健康	0.43
11 位	環境への配慮	0.39
12 位	活力と誇り	0.35



※地域幸福度相関指数について

アンケート回答者ごとの分類別平均点と、個人の幸福度(協調因子(主観))の相関関係を係数化して分布しました。

幸福度との相関係数として、0.2未満 …「ほとんど相関関係がない」、0.2～0.4 は、「やや相関関係がある」、0.4～0.7 は「かなり相関関係がある」、0.7～1.0 は「強い相関関係がある」と言えます。

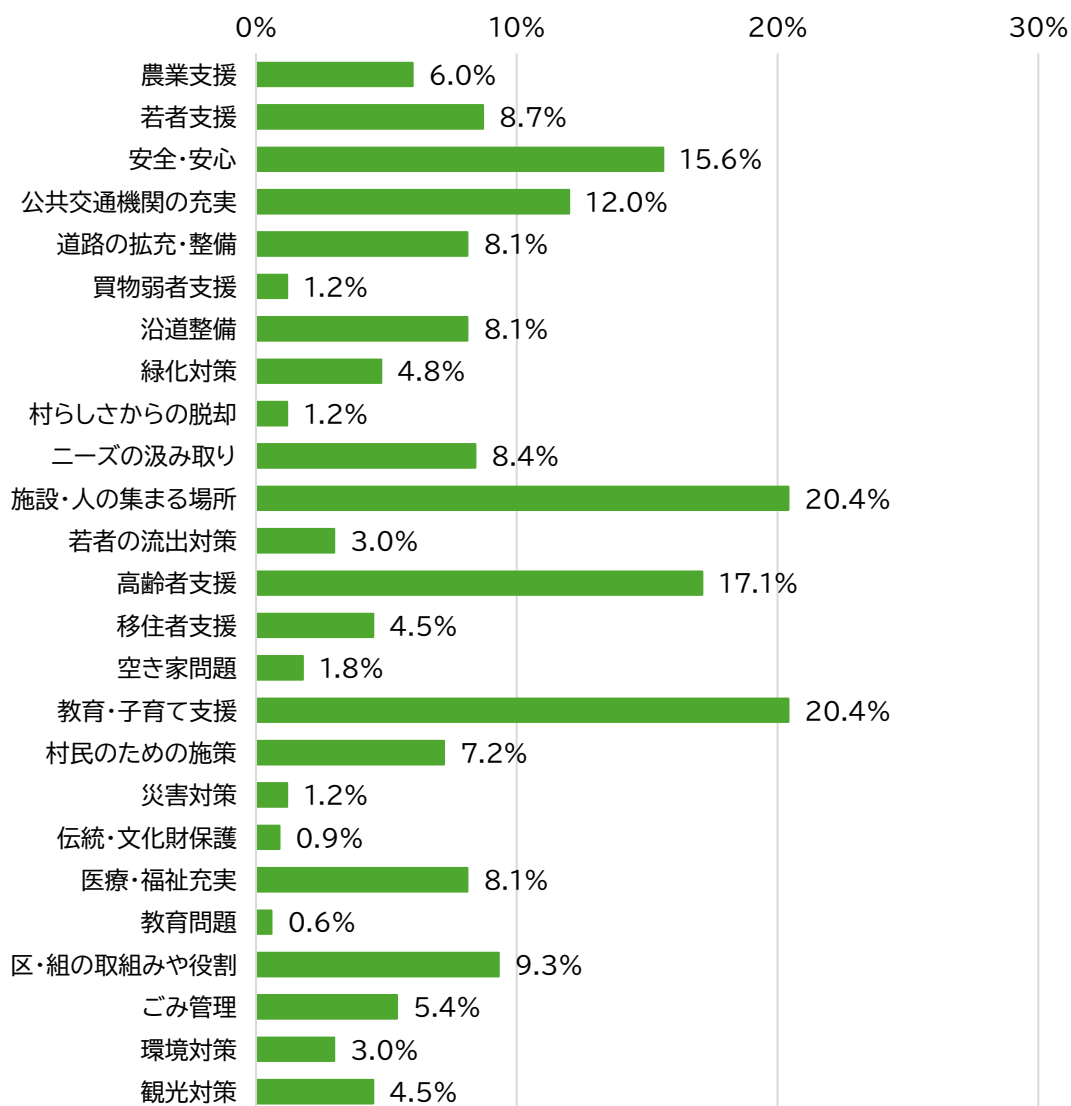
2-9 自由記載について

(1)-1 自由記載内容分析(①19 歳以上、②転入者、③高校生世代)

問 あなたの生活で現在、もしくは将来に向けて村政に望むことや、むらづくりに関するご意見・ご提案などがありましたら、自由に記入してください。

「施設・人の集まる場所」・「教育・子育て支援」に関する意見・要望が同率第 1 位。
次いで「高齢者支援」、「安全・安心」などの順。

アンケートの自由記載欄に書かれた意見・要望などに対し、「農業支援」「教育・子育て支援」などの 25 項目に分類してみたところ、「施設・人の集まる場所」・「教育・子育て支援」に関する内容が 20.4%と同率第 1 位で、次いで「高齢者支援」(17.1%)、「安全・安心」(15.6%)、「公共交通機関の充実」(12.0%)などの順となっています。



■今回【R6】n=333

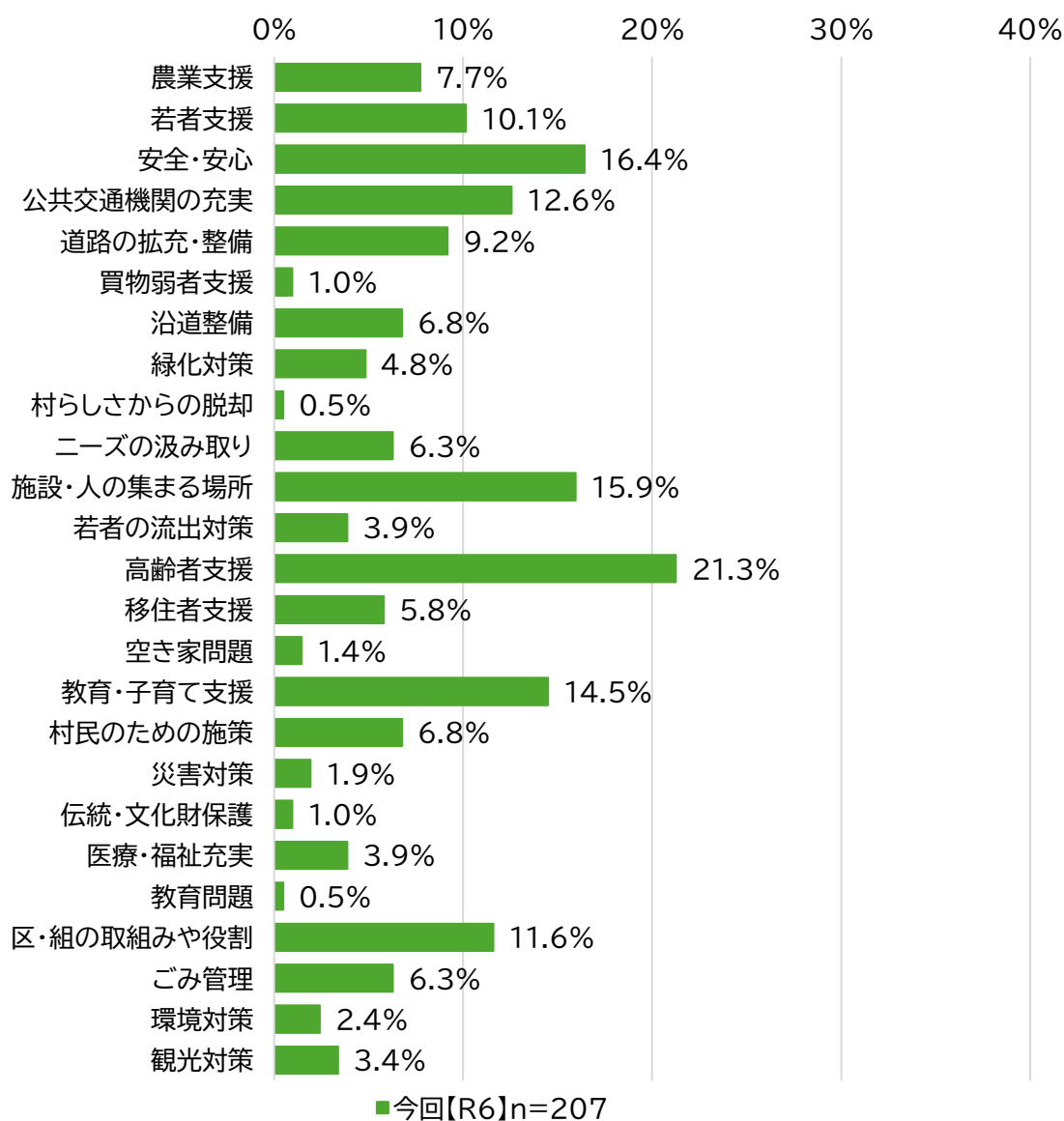
自由記載内容 全体

【調査区分別結果】

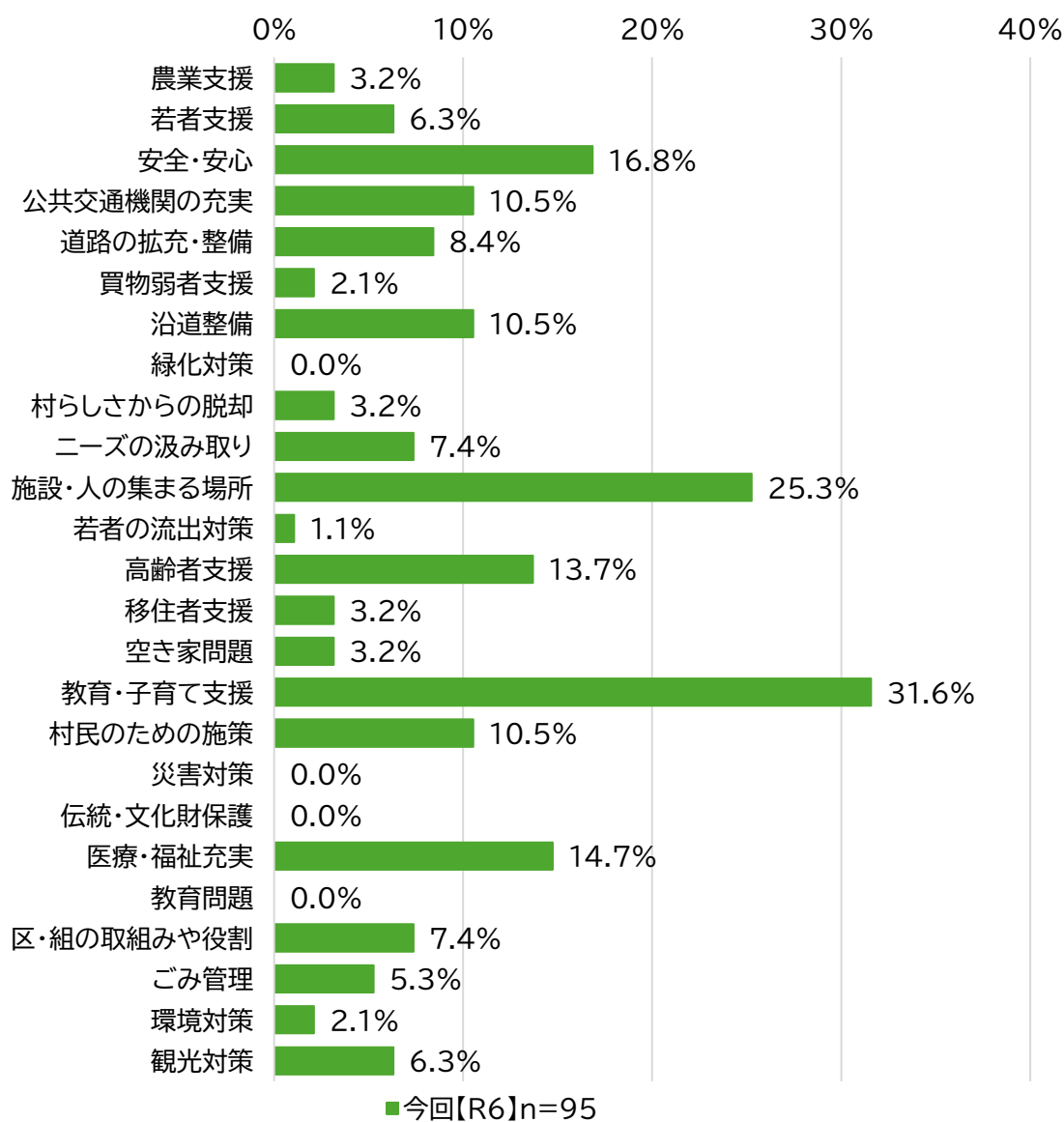
自由記載の内容について、「①19 歳以上」では、「高齢者支援」が 21.3%と最も多く、次いで「安全・安心」(16.4%)、「施設・人の集まる場所」(15.9%)などの順位となっています。

「②転入者」では、「教育・子育て支援」が 31.6%と最も多く、「施設・人の集まる場所」(25.3%)、「安全・安心」(16.8%)などの順位となっています。

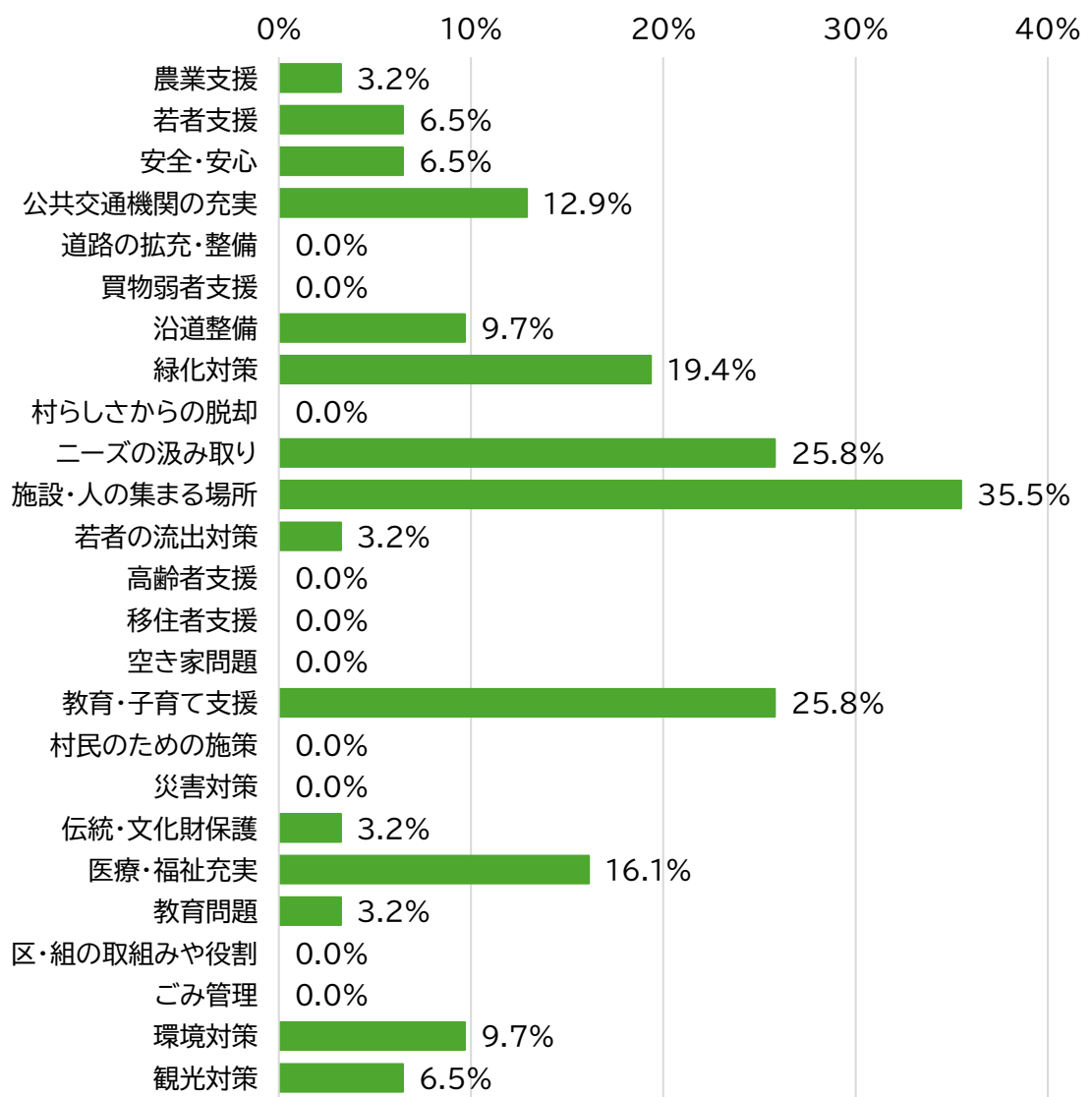
「③高校生世代」では、「施設・人の集まる場所」が 35.5%と最も多く、「ニーズの汲み取り」・「教育・子育て支援」(共に 25.8%)などの順位となっています。



自由記載内容 ①19 歳以上



自由記載内容 ②転入者



■今回【R6】n=31

自由記載内容 ③高校生

(1)-2 自由記載内容分析(④小中学生)

問 南箕輪村がもっと良いむらになるためには、どのようなことをしたら良いと思いますか。
自由に書いてください。

「自然環境・景観保全」が第1位。

次いで「村民同士の交流や助け合い」、「遊行施設の誘致・増設」などの順

アンケートの自由記載欄に書かれた意見・要望などに対し、「自然環境・景観保全」「防犯・防災」などの24項目に分類してみたところ、「自然環境・景観保全」に関する内容が38.6%で最も多く、次いで「村民同士の交流や助け合い」(16.4%)、「遊行施設の誘致・増設」(9.0%)、「商業施設の誘致・増設」(7.5%)などの順となっています。

